

2015

# 消 防 年 報

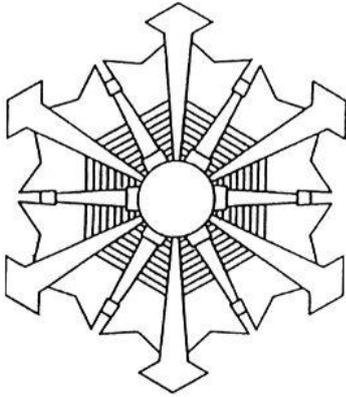
第 43 号

長 野 県

千曲坂城消防組合

# 消 防 年 報

## 2015



消 防 章

消防章は、消防の象徴であって、次の意味を有する。

- 1 雪の結晶は、水、団結および純潔の意味をもち職員の性情を表す。
- 2 水管、管鎗および水柱は、消防の究極の目的である火災にとどめをさす武器であって、消防の任務を完遂する機械と水を表す。
- 3 日章は、消防のあり方を表す。すなわち日輪は火であるとともに、万物を保護し、育成する太陽であるところから、消防もその対象は火であり、また、住民の太陽であることを意味する。

## 関係市町の市町章



千 曲 市

(平成 15 年 9 月 1 日制定)

新市発足の誕生にあたり一般公募により決定したもので、「共生と交流の和・環をイメージし、千曲市の「千」を表現」したもので、市の将来都市像である「千曲川に月や花が映える共生と交流の都市」実現への願いが込められている。



坂 城 町

(昭和 30 年 10 月 1 日制定)

新町発足と共に一般公募により決定したもので、「サカキ」を図案化し、円周は「和」を表し、中央の線は「飛躍する翼」を象徴したものです。

## はじめに

この年報は、平成 26 年中の消防業務の内容等の統計及び平成 27 年 4 月の千曲坂城消防組合の消防現勢を収録したものです。

内容をご覧いただき関係皆様方の一助となれば幸いに存じます。内容について、お気づきの点がありましたら消防本部までお問い合わせください。

平成 27 年 8 月

千曲坂城消防本部

# 目 次

## 千曲坂城消防組合の概況

千曲坂城消防組合のあらまし	1
---------------	---

## 総 務

管轄区域の概要	4
消防組合の概要	5
消防組合の組織	5
平成 27 年度千曲坂城消防組合重点施策	6
平成 26 年度の主な業務	9
消防の予算	16
消防予算（当初予算）	16
決算額（歳出総額）	16
平成 27 年度消防組合予算の内訳（当初予算）	17
消防職員	18
職員の定員と実員の累計比較	18
職員配置状況	18
職員の階級・年齢状況	18
職員の教養 内外部研修等	19
学校教養等	20
表 彰	20
職員資格取得状況	21
消防相互応援協定等締結状況	22
消防施設・車両等	23
土地・庁舎及び訓練塔	23
現有車両の状況	23
通信設備の状況	24
消防無線（アナログ）の状況	24
消防無線（デジタル）の状況	26

## 予 防

火 災	29
平成 26 年中の火災と前年比較	29
月別・市町別火災状況	30
火災原因別発生状況	31
用途別火災発生状況	31
時刻別火災発生状況	31
火災件数と損害額の推移	31
危 険 物	32

危険物施設市町別状況	32
数量別危険物施設状況	32
危険物事務処理状況	33
少量危険物届出状況	33
危険物施設立入検査状況	33
予 防	34
防火管理	34
防火対象物の現況	34
中高層建築物市町別・階層別・用途別状況	35
防火管理実施状況	35
防火対象物の立入検査実施状況	36
防火管理講習実施状況	36
条例関係等各種届出状況	37
用途別・工事別・建築同意	37
防火対象物の点検報告等対象物数	37
警 防・救 急	
出 動	38
消防吏員の火災等出動状況	38
救助出動状況	38
車両別出動状況	38
訓 練	40
職員訓練状況	40
救助隊訓練状況	40
消防団訓練指導等の状況	40
救 急	41
救急状況	41
事故種別出動状況	41
救急出動の変化	41
月別救急状況	42
市町別救急状況	42
医療機関別搬送状況	43
発生場所別搬送状況	43
年齢別救急状況	43
曜日別出動状況	43
時間別出動状況	43
傷病程度別搬送状況	44
現場到着までの所要時間別状況	44
出動から医療機関までの所要時間別状況	44
救急隊員が行った応急処置状況	44
医療機関別搬送状況	45
救命講習会等実施状況	46

## 気 象

年間降水量と平均気温の変化	47
月別気温	48
月別降水量	48
月別気温の極・階級別・天候日数	48
月別平均湿度	49
月別風向・風速	49

## 消 防 団

消 防 団	50
消防団の組織	50
消防団員の階級別定員と実員状況	51
消防団員の年齢状況	51
消防団員の勤続年数状況	52
消防団員の報酬・費用弁償等の状況	52
表彰等受賞状況	53
消防団員就業状況	53
婦人消防隊	54
婦人消防隊の組織	54

## 災害のないまちづくりのために

平成 27 年度防災推進目標	55
防災推進制度	57
消防組合関係者	59

# 千曲坂城消防組合の概況

消防本部・戸倉上山田消防署

〒 389-0806 長野県千曲市大字磯部 1221 番地

電話（消防本部）026-276-0119 FAX 026-276-9119

電話（戸倉上山田消防署）026-275-2543 FAX 同上

E-mail:chikumasakaki@ag.wakwak.com

更埴消防署

〒 387-0011 長野県千曲市大字杭瀬下 84 番地

電話 026-274-0119 FAX 026-273-1119

E-mail:shouboukoushoku@ag.wakwak.com

坂城消防署

〒 389-0602 長野県埴科郡坂城町大字中之条 1126 番地 1

電話 0268-82-0119 FAX 0268-82-1119

E-mail:shoubousakaki@ag.wakwak.com

## 千曲坂城消防組合のあらまし

- 平成15年 9月 1日 千曲坂城消防組合発足（更埴市・戸倉町上山田町の合併に伴い、更埴市消防本部と坂城戸倉上山田消防組合が一元化、本部・3消防署の組合職員定数92名）
- 10月 5日 宮坂博敏氏 管理者就任
- 平成16年 2月 19日 第25回県消防職員意見発表会（戸倉創造館）
- 7月 18日～19日迄  
福井県豪雨  
福井市～美山町にかけて孤立住民救助活動緊急消防援助隊（1隊）5人、延べ2日間出動
- 8月 更埴消防署査察車更新
- 9月 戸倉上山田消防署仮眠室改修工事
- 10月 更埴消防署仮眠室改修工事
- 10月 25日～29日迄  
新潟県中越地震  
小千谷・長岡市 救急救助活動緊急消防援助隊（2隊）10人、延べ6日間出動
- 12月 戸倉上山田消防署高規格救急車更新  
更埴消防署消防ポンプ車更新
- 平成17年 5月 28日 千曲川・犀川連合水防演習が千曲橋上流で開催される
- 6月 15日 坂城消防署 気象観測装置更新
- 12月 26日 支援車購入
- 平成18年 2月 28日 更埴消防署高規格救急車更新
- 7月 20日～21日迄  
岡谷市豪雨災害に救助隊（1隊）5人、延べ2日間出動
- 8月 24日 第35回全国消防救助技術大会（札幌）ほふく救出に出場
- 9月 5日～12月 22日迄  
梯子車 オーバーホールの実施
- 平成19年 10月 4日 宮坂博敏氏 管理者退任
- 10月 5日 近藤清一郎氏 管理者就任
- 12月 19日 戸倉上山田消防署高規格救急車更新
- 平成20年 4月 1日 消防広域化を進めるための準備組織として「東北信地域消防広域化推進事務局」を長野市に設置（職員1名派遣）
- 6月 16日 原因調査車 国際ソロプチミスト千曲より寄贈
- 10月 6日 広域化に関する調査・研究及び協議を行う組織「消防広域化研究協議会」設立
- 11月 28日 戸倉上山田消防署救急救助用圧縮空気製造設備更新
- 平成21年 8月 20日 第38回全国消防救助技術大会（横浜）ほふく救出・ロープブリッジ渡過に出場  
ほふく救出の部で全国制覇
- 12月 戸倉上山田消防署休憩室増築工事
- 平成22年 6月 25日 千曲坂城消防組合 行政事務改善委員会「消防救急無線デジタル化整備に関する検討部会・救助工作車更新に関する検討部会」設置

- 8月27日 第39回全国消防救助技術大会（京都府）ほふく救出に出場
- 12月24日 東北信消防救急無線デジタル化推進委員会 設置
- 平成23年 2月24日 戸倉上山田消防署高規格救急車更新
- 3月11日 東日本大震災（東北地方 震度7 14時46分）千曲市、坂城町 震度3  
緊急消防援助隊出動（宮城県出向 3月28日迄 1次隊～6次隊 総員51名）
- 3月12日 長野県北部地震（震度6強 3時59分）千曲市、坂城町 震度3
- 4月～24年3月迄  
緊急雇用創出対策事業として住宅火災警報機普及員 2名採用
- 5月16日～8月31日迄  
梯子車 オーバーホールの実施
- 10月1日 消防通信指令システム一部改修
- 10月28日 資機材搬送車購入
- 平成24年 4月1日 千曲坂城消防組合 行政事務改善委員会「本部、署の組織等に関する検討部会・  
庁舎整備等に関する検討部会」設置
- 5月18日 早期情報収集伝達用バイク 1台購入
- 8月7日 第41回全国消防救助技術大会（東京都）ほふく救出に出場
- 8月22日 JA 共済連長野から高規格救急自動車寄贈
- 9月14日 消防本部2階女子トイレ改修
- 平成25年 2月25日 千曲坂城消防組合職員定数条例一部改正により、平成25年4月1日から  
消防組合職員定数102人となる
- 3月27日 更埴消防署 水槽付消防ポンプ自動車納車
- 8月12日 デジタル無線整備の委託に関する協定
- 9月25日 千曲坂城消防組合 行政事務改善委員会  
「現場でのICT（情報通信技術）活用に関する検討部会」設置
- 12月3日 長野県市町村振興協会の消防本部相互応援活動強化事業  
（人員搬送車、早期情報収集伝達用バイク、軽トラック、バルーン投光機、  
ドライスーツ等購入）
- 平成26年 3月25日 耐震調査（千曲坂城消防組合 本部庁舎）
- 7月29日 更埴消防署 軽トラック更新
- 8月25日 消防本部庁舎建設整備準備室を設置
- 8月27日 第43回全国消防救助技術大会（千葉県）ほふく救出・応用登はんに出場  
※広島市における土砂災害により中止
- 9月5日 耐震調査（更埴消防署庁舎）
- 9月17日 空気式救助マット購入
- 9月28日～10月16日迄  
御岳山噴火災害 長野県相互応援協定により26人が延べ20日間出動
- 10月1日 通信指令装置で統合型位置情報通知システムの運用開始  
指揮隊スマートフォンによる災害現場の映像中継運用開始
- 11月17日 更埴消防署 高規格救急車（救急更埴2）更新
- 11月22日 長野県神城断層地震（長野県北部 震度6弱 22時08分）  
千曲市・坂城町 震度4 長野県相互応援協定により4人が出動

- 12月 11日 化学防護服更新（更埴署）
- 12月 26日 消防研究センターとの合同火災原因調査
- 3月 17日 消防救急デジタル無線整備完了

総

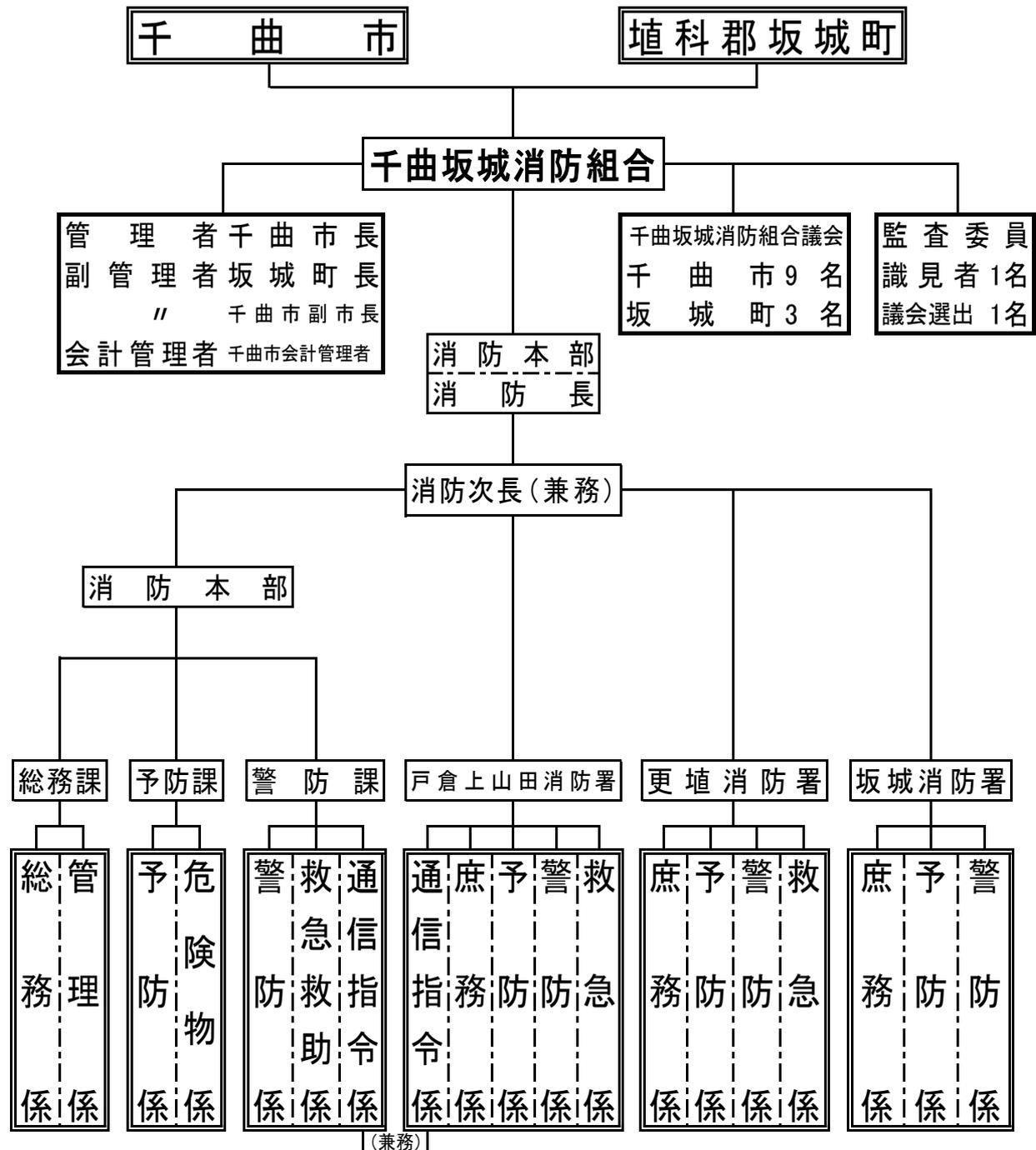
務



# 消防組合の概要

当消防組合は、平成15年9月1日関係市町の合併に伴い、昭和45年2月坂城町、戸倉町、上山田町3町による一部事務組合として発足した坂城戸倉上山田消防組合と、昭和42年4月に発足した更埴市消防本部が千曲市の誕生により一元化され、1市1町(千曲市、坂城町)で組織された千曲坂城消防組合(1本部3署体制)となり、消防力も強化され災害に強い安全なまちづくりに日夜努力を続けています。

# 消防組合の組織



※消防本部3課7係を置く

※消防署 3消防署12係を置く

# 平成27年度 千曲坂城消防組合重点施策

## 1 消防行政の状況

近年の消防行政を取り巻く環境は、災害事故の大規模化及び都市構造の複雑化に加えて住民ニーズの高度化等により、消防機関としても迅速かつ的確に対応することが求められており、住民の生命及び財産を守る責務の重要性を認識しているところです。

こういった現状の中、当消防組合では、限られた人員、機材の有効活用を図り、実情に応じた消防体制の確立に努めてきましたが、今後も今まで以上に効果的・効率的な消防体制の整備を図ることが求められています。

昨年の県内での災害状況を顧みると、2月の記録的な豪雪に始まり、南木曾町の土石流災害、御嶽山噴火災害、長野県神城断層地震などが相次いで発生した一年でありました。

防災・減災に対する住民の関心が高まるなか、風水害や地震などの自然災害、危険物火災などの特殊な災害や事故、さらには、国際的なテロ災害、新型インフルエンザやエボラ出血熱など、あらゆる事態への対応とその備えが強く求められるようになっていきます。

特に、今後想定される南海トラフ巨大地震、首都直下地震等の大規模災害への対応のため、消防団、自主防災組織等の関係機関・団体とも連携を図りながら、震災等大規模災害の対策を早急に推進する必要がある。

また、我が国の社会経済は回復の兆しは見えるものの、依然として景気低迷が続いており、地方財政運営も引き続き厳しい状況に置かれておりますが、消防組合の大きな課題でありました戸倉上山田消防署庁舎建設整備事業が昨年度から始まり、今年度より本格的な工事に着手し平成28年度完成を目指します。また、通信指令装置高機能化整備と救助工作車更新整備事業を計画しました。

財政状況が厳しさを増す中での事業であるが、創意工夫を重ねながら事業を進め、経費節減に努めていく必要がある。

このような状況下ではあるが、千曲市民、坂城町民の安心・安全の確保を図り、災害に強いまちづくりの実現に向けて、防災広報活動等を積極的に行い、事故及び自然災害発生時の総合的な防災力を市民、町民と共に高めることが喫緊の課題であることを念頭に置き、以下の事項を平成27年度千曲坂城消防組合重点施策と位置づけ、業務の達成を図るものとする。

## 2 重点的に行う施策

### (1) 火災予防対策の推進

ア 住宅火災と焼死者防止を図るため、住宅用火災警報器の設置率の向上を目指すとともに、防災機器の設置や防災製品の普及を推進する。

イ 防火対象物及び危険物施設等の火災、事故の防止対策として、予防査察と違反是正を強化するとともに、一般家庭に対しても少量危険物、家庭用ガスの事故防止と危険意識の喚起を促すための広報及び指導を行う。

ウ 医療機関・社会福祉施設等、災害弱者を収容する施設の関係者に対し、日常の危機管理意

識、火災発生時の非難誘導体制の確立と遵法意識の涵養を図る。

エ 放火による火災が増加していることから、地域及び消防団等の関係団体と連携し、放火されない環境づくりを推進する。

オ 防災推進制度を活用し、市民・町民に対して地域を含めた災害予防対策及び災害対応の徹底を図る。

また、独居老人家庭への防火指導を推進する。

## (2) 防災力の充実強化

ア 首都直下地震、東海・東南海地震を含む南海トラフ地震など巨大地震の発生に備え、市民・町民に防災訓練などへの参加を働きかけるとともに、有事の活動等について関係者間との連携を再確認及び強化を図り、地域の防災力を高める。

イ 地球環境の変化等による台風や豪雪、梅雨前線の停滞による豪雨、急速に発達する爆弾低気圧、予測不可能なゲリラ豪雨、これらの風水害等の対応策として、情報収集と伝達体制の向上に努め、住民の避難、安全確保に万全を期すため、防災推進制度の推進と関係者間の連携を強化するとともに、災害時の被害軽減を期し、消防団等関係機関を含めた初動体制及び現場情報の共有一元化策の確立を図る。

ウ 消防の広域化が先送りされたことから、消防相互応援体制を強化し大規模災害時の応援、受援態勢の充実を図る。

エ 統括指揮隊は、現場の映像中継システムを活用するとともに、災害現場での出動部隊及び消防団員の指揮、安全管理、現場広報等を組織的に運用するため、現場指揮体制の効率化を図る。

## (3) 救急救命の高度化及び救助体制の充実強化

ア 高度化する救急処置に対応するため、救急救命士の高度化研修と救急隊員の医療及び人的教育などを行い、傷病者の救命率の向上と症状の軽減化を図るとともに、信頼される救急行政を推進する。

イ 迅速に傷病者を医療機関へ搬送、収容をするため、医療情報の収集、ドクターヘリの活用及び医療機関との信頼関係の醸成に努める。

また、ドクターヘリ運用要領にキーワード方式が導入され、ドクターヘリを要請する事案が増加していることから、指揮隊、救急隊、消防隊は連携し、消防防災ヘリを含めた、ヘリ運用の対応を図る。

ウ 誰もが抵抗感なく救命処置が行える環境づくりを目指して、AED講習をはじめ、応急手当の普及啓発を推進するとともに、救急車の適正利用の周知を図る。

エ 業務継続計画に基づき、関係機関と連携しながら適切な救急業務提供体制を確立する。

オ 複雑多様化する救助事象に備えるため、迅速かつ安全確実な救助体制の確立を図るとともに、若年隊員に対しては、知識及び技術の習得の徹底を図る。

## 3 取り組むべき課題

- (1) 熟練職員の退職増に伴う組織力及び消防力低下の防止対策の強化
- (2) 経費削減の徹底を図るため、業務内容及び効果の精査と効率化の推進
- (3) 将来的な消防広域化の実現を視野に消防体制の基盤強化等について調査研究
- (4) 更埴消防署の耐震診断結果から、庁舎整備に関する調査研究

(5) 職員資質の研鑽及び職場環境の整備

- ア 消防人の自覚及び目的意識の涵養並びに積極的な自己研鑽
- イ 健康管理と公務災害及び各種事故防止の徹底
- ウ 服務管理の徹底及び人材育成に伴う評価の取り組み
- エ 消防職員委員会の適時開催と要望事項等の適正実施
- オ メンタルヘルス対策の取り組み

(6) 今年度、千曲市で開催される長野県総合防災訓練及び長野県消防相互応援隊合同訓練に向けての計画及び関係機関との綿密な調整と打合せ

(7) 戸倉上山田消防署庁舎改築整備事業関係

#### 4 むすびに

職員は、千曲市民と坂城町民の奉仕者として、職務の遂行に当たっては全力をあげてこれに専念する義務がある。

更に、消防は、地域住民の生命、身体、財産を災害等から守るという崇高な使命と責任を十分に自覚し、掲げた重点施策の達成度等を日々確認しながら業務を進め、安心して暮らせる安全な、まちづくりを実現するために、職務に精励するものとする。

# 平成 26 年度の主な業務

月 日	内 容
4 月	
1 日	辞令交付式
3 日	消防学校操法指導員講習 3 名出向
7 日	危険物防火管理協会 25 年度決算監査
〃	トリアージ訓練（篠ノ井総合病院）
9 日	県消防長会総会（長野市）
〃	坂城町山火事予防広報パレード
10 日	県消防学校初任科入校 10/5 まで 4 名出向
11 日	危険物地区協会事務担当者会議（長野市）
14 日	第 1 回埴科消防協会理事会
〃	救助隊特別訓練開始 6/20 まで
18 日	危険物防火管理協会東信ブロック会議
20 日	千曲市消防団規律訓練・分団長会議・安全管理誘導管理講習会
〃	坂城町消防団・婦人消防隊合同規律訓練
21 日	千曲市山火事予防広報パレード
23 日	全国消防会関東支部総会（静岡市）
24 日	信州ドクターヘリ事後検証会議（上田市）
25 日	第 1 回消防団幹部等連絡会議・消防警察連絡会議
28 日	指名業者等選定委員会（消防本部）
5 月	
1 日	救急救命士病院実習（千曲中央病院） 6/7 まで 1 名出向
2 日	Eメール指令導入に伴う先進地視察（須坂市）
8 日	県消防学校救助科入校 6/11 まで 1 名出向
11 日	こどもフェスティバル in びんぐし 展示
14 日	信越地方非常通信協議会総会（長野市）
15 日	長野 L P G 協会通常総会（長野市）
16 日	危険物防火管理協会理事会・通常総会（千曲市観光会館）
17 日	定期救命講習会（更埴署）
20 日	長野地域 M C 協議会（長野市消防局）
22 日	土砂災害対策推進協議会（長野合同庁舎）
25 日	坂城町消防ポンプ操法講習会
〃	I C L S 信州セミナー
26 日	信州ドクターヘリ事後検証会議（信州大学病院）
27 日	消防団ポンプ操法訓練指導開始 6/21 まで
31 日	信州神経救急研究会（信州大学病院）

6月

- 1日 千曲市消防ポンプ操法講習会
- 〃 千曲市・坂城町合同ラッパ講習会
- 2日 長野県消防長会（長野市消防局）
- 〃 新庁舎建設に伴う視察（長野市消防局東部消防署・山之内消防署）
- 4日 長野県危険物安全協会通常総会・長野県危険物安全大会（安曇野市）
- 4.5日 甲種防火管理講習会（あんずホール）
- 9日 埴科消防協会理事会
- 13日 県緊急消防援助隊運用WG会議（長野県庁）
- 14日 定期救命講習会（坂城署）
- 17日 ドクターヘリ運行調整委員会（長野市）
- 18日 県消防学校特殊災害科入校 6/27まで 1名出向
- 21日 県消防救助技術大会（県消防学校）
- 23日 信州ドクターヘリ事後検証会議（佐久医療センター）
- 26日 第1回長野地域MC協議会 事後検証会議・専門部会（県立須坂病院）
- 〃 長野県高速道路消防連絡協議会総会（長野市）
- 28日 信州臨床救急懇談会（松本市）
- 29日 千曲市消防ポンプ操法大会

7月

- 1日 少量危険物・LPG施設巡回指導（坂城町）
- 4日 東北信消防救急無線デジタル化推進委員会専門部会（長野市消防局）
- 6日 坂城町消防ポンプ操法大会
- 〃 甲信救急集中治療セミナー（長野市）
- 7日 危険物保安技術講習会（東京都）
- 8日 県消防防災ヘリコプター運航研修会（松本市）
- 〃 防災危機管理トップセミナー（塩尻市）
- 11日 危険物防火管理協会理事会（消防本部）
- 13日 埴科消防ポンプ操法・ラッパ吹奏大会（坂城町）
- 16日 安全運転管理者法定講習会（千曲市観光会館）
- 17日 解剖実習（信州大学病院） 2名出向
- 19.20日 戸倉上山田温泉夏祭・花火大会警戒
- 19日 戸倉上山田温泉夏祭り 露天商火災予防指導
- 21日 上級救命講習会（戸倉上山田署）
- 24日 埴科地域包括医療協議会総会（埴生公民館）
- 27日 長野県消防ポンプ操法大会（大町市）
- 〃 夏休み親子消防体験教室（坂城署）
- 〃 埴科消防協会理事会
- 〃 少年消防クラブ合同研修会（松本市）
- 28日 信州ドクターヘリ事後検証会議（信州大学病院）

29日	県消防長会違反是正推進連絡会・予防担当者研究会議（あんずホール）
29日	県消防学校震災対応技術研修入校 8/1まで 1名出向
8月	
1日	第1回救急医療連絡協議会（篠ノ井総合病院）
2日	夏休み親子消防体験教室（戸倉上山田署）
6日	臨時消防長会（松本広域消防局）
〃	消防フォーラム in ながの 2014（松本市）
7日	千曲川納涼花火大会警戒
18日	消防組合臨時議会
19日	危険物取扱者保安講習会（上田市）
23日	定期救命講習会（更埴署）
24日	坂城町総合防災訓練
〃	千曲川いかだ下り大会警戒
25日	信州ドクターヘリ事後検証会議（長野赤十字病院）
〃	第1回 消防本部庁舎建設整備準備室会議 ～内規・役割分担など～
26日	第2回 消防本部庁舎建設整備準備室会議 ～庁舎レイアウトなど～
27日	第3回 消防本部庁舎建設整備準備室会議 ～ 〃 ～
28日	上山田支部自治会連合会
29日	防火管理者再講習（消防本部）
29日	第4回 消防本部庁舎建設準備室会議 ～緊急防災・減災事業活用～
31日	千曲川ロードレース大会 救急警戒
〃	びんぐしの里薪能 救急警戒
9月	
1日	救急救命士東京研修所入校 3/9まで1名出向
〃	第5回 消防本部庁舎建設整備準備室会議 ～設計委託仕様書など～
2日	第6回 消防本部庁舎建設整備準備室会議 ～ 〃 ～
3日	第7回 消防本部庁舎建設整備準備室会議 ～最終庁舎レイアウトなど～
4日	第8回 消防本部庁舎建設整備準備室会議 ～千曲市建設課との打合せなど～
5日	県消防関係殉職者慰霊祭（花岡平）
6日	日本熱傷学会甲信地方会学術集会（佐久医療センター）
7日	千曲市総合防災訓練（埴生地区）
9日	定期救命講習会（戸倉上山田署）
〃	第9回 消防本部庁舎建設整備準備室会議 ～起債の活用など～
10日	救急担当者会議（飯田広域消防）
11日	第10回 消防本部庁舎建設整備準備室会議 ～設計仕様書の作製など～
15日	ふれあい広場「科野楽市」火災予防指導及び化学車展示
16日	第11回 消防本部庁舎建設整備準備室会議 ～概算額など～

19日	第2回長野地域MC協議会 事後検証会議・専門部会（長野市）
24日	県危険物事故防止連絡会（松本合同庁舎）
25日	防火ポスター審査会
〃	第12回 消防本部庁舎建設整備準備室会議 ～各セクションのプレゼン～
26日	緊急消防援助隊WG会議（松本市消防局）
29日	信州ドクターヘリ事後検証会議（信州大学病院）
〃	御嶽山噴火災害への消防相互応援派遣 10/16まで 延べ26名出動
10月	
1日	スマートフォン運用開始
〃	気管挿管病院実習（松代総合病院） 10/24まで 1名
2.3日	甲種防火管理講習会（消防本部）
4日	県消防学校初任科卒業式及び査閲 4名卒業
6日	第13回 消防本部庁舎建設整備準備室会議 ～議会の会議結果など～
8日	災害医療策定会議（長野保健所）
14日	議会定例会
17日	違反是正事例研究会（長野市）
〃	第14回 消防本部庁舎建設整備準備室会議 ～出動・業務体制など～
18日	定期救命講習会（坂城署）
20日	県消防学校警防科入校 10/31まで 1名出向
〃	救急隊員発展向上セミナー（佐久市）
〃	消防団幹部連絡会議（消防本部）
22.23日	「応急手当のできる店」救命講習
23日	坂上トンネル非常用防災施設説明会（坂上トンネル）
27日	御嶽山噴火災害弔意表明 黙祷
〃	信州ドクターヘリ事後検証会議（佐久医療センター）
28.29日	組合議会行政視察（長岡市・岳北消防本部）
29日	防火管理者会議（あんずホール）
30日	しなの鉄道訓練（戸倉駅軌道敷地）※上田広域連合消防本部が実施
11月	
1日	千曲中央病院 消防防災訓練
3日	森將軍塚祭り 露天商火災予防指導
4日	第15回 消防本部庁舎建設整備準備室会議 ～改築費用など～
5日	県消防学校火災調査科入校 11/18まで 1名出向
5.6日	緊急援助隊関東ブロック合同訓練（静岡県）
7日	救急救命士研修会（千曲市観光会館）
〃	長野石油輸送・移動タンク貯蔵所 立入検査
〃	信越地方非常通信協議会実務担当者会議（長野市）

9日	坂城町火災予防広報パレード
10日	一日消防士・火災予防運動に伴う消防訓練
11日	東日本高速道路（NEXCO）総合合同訓練（長野IC）
12日	危険物移動タンク貯蔵所等の合同立入検査（国道18号線田町PA）
〃	警防担当者会議（須坂市消防本部）
13日	県消防長会議（長野市消防局）
15日	定期救命講習会（更埴署）
18日	実務研修会（塩尻市）
〃	新庁舎建設に伴う視察（佐久広域連合消防本部北部消防署）
19日	消防長研修会（横浜市）
〃	千曲市消防団分団長会議
〃	新庁舎建設に伴う視察（上伊那広域消防本部・諏訪広域消防本部）
20日	製品安全業務報告会・全国消防技術者会議（東京都）
〃	坂上トンネル防災訓練
21日	JX北信油層所 立入検査
〃	第3回長野地域MC協議会 事後検証会議・専門部会（千曲市）
〃	毒劇物事故対策研修会（長野県庁）
23日	長野県神城断層地震への消防相互応援派遣 11/23 延べ4名出動
25日	県消防学校危険物科入校 12/2まで 1名出向
26日	県危険物協会地区協会長研修（長野市）
28日	埴科消防協会理事会・行政懇談会
30日	救急救命処置に係る事後検証医講習会（県消防学校）
12月	
1日	第2回救急医療連絡協議会（篠ノ井総合病院）
4日	第16回 消防本部庁舎建設設備準備室会議 ～行政視察研修結果など～
6日	救急事例研究会（佐久医療センター）
10日	大頭祭 露店火災予防指導
11日	長野地域MC協議会 専門部会（千曲中央病院）
11.12日	年末特別査察
16日	消防研究センターとの合同鑑識見分 電子レンジ火災
17日	県消防学校拡大二行為追加講習 12/18まで 4名出向
〃	緊急消防援助隊WG会議（長野県庁）
〃	坂城町婦人消防隊分隊長会議
19日	全国消防救助シンポジウム（東京都）
22日	千曲市防災会議
〃	信州ドクターヘリ事後検証会議（山ノ内町）
25日	第17回 消防本部庁舎建設整備準備室会議 ～レイアウト構図案検討など～

27日	坂城町消防団歳末警戒督励巡視
28日	千曲市消防団歳末警戒督励巡視
31日	武水別神社 露店火災予防広報
27年1月	
7日	県消防学校救急科入校 3/5まで 4名出向
15日	第18回 消防本部庁舎建設設備準備室会議 ～レイアウト構図案検討など～
16日	デジタル無線整備における会議（長野市）
18日	千曲市消防団出初式
19日	県消防学校幹部科入校 1/30まで 1名出向
20日	救急症例検討会議（松代総合病院）
21日	御嶽山噴火災害対応に係る知事表彰（長野市）
25日	坂城町消防団出初式
26日	文化財防火パトロール（千曲市）
〃	信州ドクターヘリ事後検証会議（信州大学病院）
27日	文化財防火パトロール（坂城町）
〃	救急車寄贈によるパレパレ市長表敬訪問
29日	災害医療安全講演会（千曲中央病院）
2月	
2日	救急救命士業務実地修練（東京都） 2/6まで 1名出向
5日	新庁舎建設に伴う視察（佐久広域連合消防本部）
6日	第19回 消防本部庁舎建設設備準備室会議 ～庁舎設備関係の検討など～
7日	救急隊員学術研究会（横浜市）
8日	長野県 DMAT 養成研修会（佐久医療センター）
9日	上山田飲食店組合防犯講習会
10日	気管挿管技術認定救命士再教育講習（県消防学校） 8名出向
10日	危険物防火管理協会「応急手当のできる店」救命講習会
12日	県消防職員意見発表会（長野市）
13日	県消防長会定例会
16日	議会定例会
〃	県消防学校予防査察科入校 2/27まで 1名出向
18日	消防団幹部連絡会議
19日	防火管理者会議（あんずホール）
21日	定期救命講習会（坂城署）
〃	院内研究発表会（千曲中央病院）
24日	県高速道路消防連絡協議会（長野市）
〃	埴科地域包括医療協議会理事会（戸倉創造館）
26日	上田消防との救助隊合同潜水訓練（アクアプラザ上田）

3月

- |     |   |
|-----|---|
| 27日 | 長野県危険物安全協会事務局担当者会議（長野市）                 |
| 1日  | 災害医療研修会（長野赤十字病院）                        |
| 3日  | 救助隊ランニング訓練（千曲川ハーフマラソン事前調査を兼ねる）          |
| 4日  | 第20回 消防本部庁舎建設設備準備室会議 ～具体的な設計等の検討など～     |
| 5日  | 部外者表彰 ～消火協力者～                           |
| 6日  | 部外者表彰 ～救急協力者～                           |
| 〃   | 危険物防火管理協会理事会                            |
| 10日 | 埴科消防協会理事会                               |
| 11日 | 東日本大震災の犠牲者に対し黙祷 14:46 実施                |
| 12日 | 県救急活動研究会（飯田市）                           |
| 〃   | 第4回長野地域 MC 協議会 事後検証会議・専門部会（長野市）         |
| 13日 | 防災講演会（戸倉上山田ロータリークラブ）                    |
| 14日 | 地域医療フォーラム（松代総合病院）                       |
| 15日 | 千曲川ハーフマラソン 救急警戒                         |
| 18日 | 県消防学校拡大二行為追加講習 3/20 まで 4名出向             |
| 20日 | 第3回救急医療連絡協議会（篠ノ井総合病院）                   |
| 24日 | 戸倉上山田社交飲食業組合 防火講習会                      |
| 25日 | 平成27年度 第1回指名業者等選定委員会                    |
| 26日 | JR東日本運輸部より救急救助活動における感謝状を受ける ～JR 篠ノ井線事故～ |

# 消 防 の 予 算

平成27年度の関係市町の一般会計予算総額は32,990,000千円、そのうち消防費は1,047,604千円で、予算総額の3.04%となっています。当組合の予算額は1,302,500千円で歳入額の62.06%（808,301千円）が関係市町の負担金で賄われています。

## 消防予算(当初予算)

区分 年度	会計市町一般 会計予算総額 (A)	関係市町 消防費総額 (B)	比 率 $\frac{(B)}{(A)} \times 100$	消 防 組 合 予 算 額 (市・町負担金)	消防組合予算に対する 負担額	
					住民1人当り	1世帯当り
H27	千円 32,990,000	千円 1,004,103	% 3.04	千円 1,302,500	円 16,741	円 46,240
千曲市	26,080,000	787,757	3.02	632,816		
坂城町	6,910,000	216,346	3.13	175,485		

## 決算額(歳出総額)

区分 年度	会計市町一般 会計決算総額 (A)	関係市町 消防費決算額 (B)	比 率 $\frac{(B)}{(A)} \times 100$	消 防 組 合 決 算 額	消防組合決算額に対する 負担額	
					住民1人当り	1世帯当り
H25	千円 千曲市 25,664,808	千円 787,921	%	千円 780,675	円 10,187	円 27,964
	坂城町 5,685,980	227,435				
	31,350,788	1,015,356	3.23	780,675	10,187	27,964

平成 27 年度消防組合予算の内訳(当初予算)

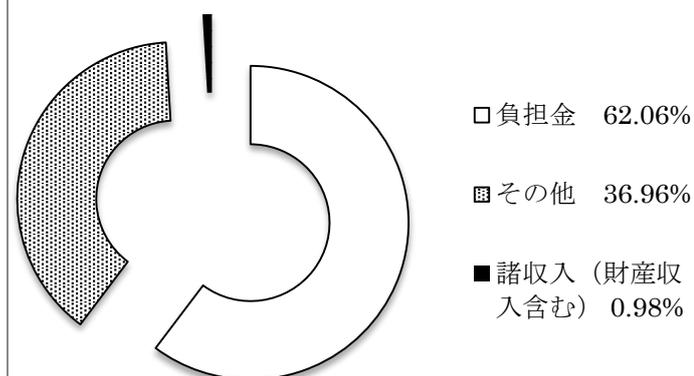
歳 入

歳 出

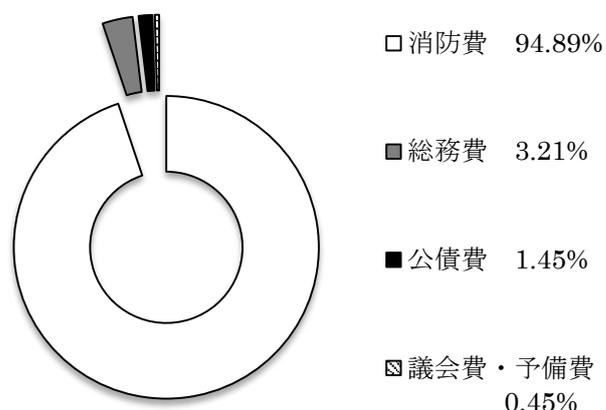
項 目	金 額 ( 千 円 )
計	1,302,500
負 担 金	808,301
手 数 料	1,278
国、県支出金	2
財 産 収 入	176
繰 入 金	19,125
繰 越 金	10,000
諸 収 入	12,618
組 合 債	451,000

項 目	金 額 ( 千 円 )
計	1,302,500
議 会 費	828
総 務 費	41,819
消 防 費	1,235,977
公 債 費	18,876
予 備 費	5,000

歳入割合



歳出割合



## 消 防 職 員

消防職員は現在97名（外部研修派遣等6名）。地域住民の期待に応えるべく、住民の生命と財産を災害から守るため、安心・安全なまちづくりに日夜努力しています。

### 職員の定員と実員の累計比較

H27. 4. 1現在

年度 \ 階級別	計	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士
H27	97(102)	1	7	18	24	14	21	12

( )内は定員

### 職員配置状況

H27. 4. 1現在

年度 \ 階級別	計	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士
計	97	1	7	18	24	14	21	12
総括	1	1						
総務課 課長	1		1					
総務課 総務係	4			1	2	1		
総務課 管理係	1			1				
予防課 課長	1		1					
予防課 予防係	3			1	1		1	
予防課 危険物係	3			1	1		1	
警防課 課長	1		1					
警防課 警防係	2			1	1			
警防課 救急救助係	2			1		1		
戸倉署 署長	1		1					
戸倉署 庶務係	3			1		1	1	
戸倉署 予防係	13			2	3	1	5	2
山田署 警防係	6			1	2	1		2
山田署 通信指令係	6			1	3	2		
山田署 救急係	5			1	1	2	1	
更埴署 署長	1		1					
更埴署 庶務係	3			1			1	1
更埴署 予防係	11		1		2	1	5	2
更埴署 警防係	10			1	3	1	2	3
更埴署 救急係	3			1	1	1		
坂城署 署長	1		1					
坂城署 庶務係	3			1		1	1	
坂城署 予防係	7			1	3	1	1	1
坂城署 警防係	5			1	1		2	1

### 職員の階級・年齢状況

H27. 4. 1現在

年度 \ 階級別	計	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士
計	97	1	7	18	24	14	21	12
18才～25才	22						10	12
26才～30才	16					5	11	
31才～35才	13				4	9		
36才～40才	15				15			
41才～45才	11			6	5			
46才～50才	7			7				
51才～55才	6		1	5				
56才以上	7	1	6					

# 職員の教養

## 内外部研修等

種別		年度	平成26年度中（人数）
研 修	特 殊 無 線 講 習		4
	車 両 操 作 等 研 修		
	消 防 用 設 備 点 検 資 格 者 講 習		
	行 政 職 員 講 習		
	昇 降 機 関 係 講 習		
	2 級 ボ イ ラ ー 技 士 資 格 講 習		
	2 級 小 型 船 舶 講 習		
	潜 水 士 資 格 講 習		
	玉 掛 技 能 者 講 習		
	酸 素 欠 乏 技 能 講 習		
	石 油 燃 焼 機 器 技 術 講 習		
	ガ ス 溶 接 技 能 講 習		
	火 災 原 因 基 礎 講 座		
ク レ ー ン 資 格 講 習			
消 防 長 研 修 会		1	
救 急 救 命 士 病 院 実 習		1	
気 管 挿 管 病 院 実 習		1	
救 急 救 命 士 業 務 実 地 修 練		1	
救 急 救 命 士 病 院 実 習		1	
長 野 地 域 MC 協 議 会 事 後 検 証 会 議		30	
信 州 ド ク タ ー ヘ リ 事 後 検 証 会 議		16	
県 D M A T 養 成 研 修 会		11	
救 急 研 修 セ ミ ナ ー		19	
救 急 事 例 研 究 会		2	
信 州 神 経 救 急 研 究 会		2	
I C L S 信 州 セ ミ ナ ー		2	
信 州 臨 床 救 急 懇 談 会		2	
甲 信 救 急 集 中 セ ミ ナ ー		2	
日 本 熱 傷 学 会 甲 信 地 方 学 術 集 会		2	
信 州 大 学 解 剖 実 習		2	
救 急 隊 員 学 術 研 究 会		1	
救 急 隊 員 発 展 向 上 セ ミ ナ ー		1	
地 域 医 療 フ ォ ー ラ ム		3	
災 害 医 療 策 定 会 議		1	
緊 急 援 助 隊 運 用 W G 会 議		4	
全 国 消 防 救 助 シ ン ポ ジ ウ ム		1	
全 国 消 防 技 術 者 会 議		1	
違 反 是 正 事 例 研 究 会 議		3	
製 品 安 全 業 務 報 告 会 議		1	
調 査 技 術 会 議			
予 防 実 務 研 修 会			
火 災 原 因 調 査 研 修 会			
危 険 物 保 安 技 術 者 講 習			
危 険 物 事 故 事 例 セ ミ ナ ー			
毒 物 劇 物 事 故 対 策 研 修 会		2	
安 全 運 転 管 理 者 法 定 講 習		3	
消 防 職 員 安 全 衛 生 研 修 会			

学校教養等

種別		年度現在	平成27年4月1日現在(人数)
消防 大学 校	本	科	
	専	科	9
	そ の 他	講 習	5
救 急 救 命 研 修 所			26
消 防 学 校	初	任 科	89
	救 急	標 準 科	47
	救 急	I ・ II 課 程	39
	幹	部 科	13
	危 険	物 科	25
	警	防 科	20
	救	助 科	19
	特 殊	災 害 科	11
	火 災	調 査 科	27
	予 防	査 察 科	28
	救 急	高 度 化 研 修	10
	気 管	挿 管 講 習	19
	薬 剤	追 加 講 習	23
拡 大	二 行 為 追 加 講 習	4	
そ の 他	講 習	63	

表 彰

区 分		平成26年度中(人数)	
消 防 庁 長 官	表 彰 旗		
	功 勞 章		
	永 年 勤 続 功 勞 章	1	
全 国 消 防 協 会 長	優 良 消 防 職 員 表 彰		
全 国 消 防 長 会 長	永 年 勤 続 功 勞 者 (40 年)		
	永 年 勤 続 功 勞 者 (30 年)		
	永 年 勤 続 功 勞 者 (20 年)		
千 曲 坂 城 消 防 組 合 管 理 者	永 年 勤 続 功 勞 者 (20 年)	3	
	退 職 者 表 彰		
千 曲 坂 城 消 防 組 合 消 防 長 (消 防 署 長)	消 防 活 動 に お け る 功 勞 者 の 表 彰	部 外 者	5
		事 業 所	
		職 員	3

職員資格取得状況

資格		年度現在	平成27年4月1日現在(人数)
自動車運転	大型第一種		78
	中型第一種		79
	普通第一種		18
	大型特殊		0
	自動二轮		52
小型	移動式クレーン		58
危険物	甲種第一類		1
	乙種第一類		6
	乙種第二類		6
	乙種第三類		7
	乙種第四類		82
	乙種第五類		5
	乙種第六類		7
	丙種		16
消防設備士	甲種第一類		1
	甲種第二類		0
	甲種第三類		0
	甲種第四類		1
	甲種第五類		1
	乙種第一類		1
	乙種第二類		1
	乙種第三類		1
	乙種第四類		2
	乙種第五類		1
	乙種第六類		34
	乙種第七類		1
特殊無線技士		94	
応急手当指導員		80	
救急隊員資格認定者		94	
救急救命士		33	
看護師(准看護師含む)		1	
日赤水上安全救助員		13	
整備管埋者		1	
ガス溶接技能者		23	
アーク溶接技能者		9	
二級ボイラ一技士		2	
高圧ガス販売責任者		1	
二級小型船舶操縦士		35	
アマチュア無線技士		10	
潜水士		41	
足場組立等作業主任者		2	
玉掛技能者		55	
酸素欠乏危険作業主任者		9	
衛生管理		2	
毒物・劇物取扱者(一般)		2	
有機溶剤作業主任者		2	
特定科学物質等作業主任者		5	
防火管埋者		37	
予防技術資格検定者	防火査察		18
	消防用設備等		7
	危険物		6

## 消防相互応援協定等締結状況

協定書の内容	協定市町村等	締結・発行年月日	備 考
大規模特殊災害時における 広域航空消防応援	各都道府県	締結 昭和61年 5月30日 発効 昭和61年 5月30日	消防庁次長通達 消防救第61号
高速自動車国道 消防相互応援協定	松本地域広域行政事務組合 塩尻市、松本市、豊科町、 明科町、四賀村、本城村、 坂北村、坂井村、麻績村、 長野市、須坂市、 高速道所在市町村	締結 平成 4年11月30日 発効 平成 5年 4月 1日	松本広域連合と改称
災害時の消防応援協定	富山県射水市 更埴市	平成 7年11月30日	・平成15年 9月 1日から 千曲市と改称 ・平成17年11月 1日から 射水市と改称
緊急消防援助隊	各都道府県	制定 平成 7年12月25日 施行 平成 7年12月25日	消火隊 2隊 救急隊 1隊
長野県消防相互応援協定	県内消防本部	締結 平成 8年 2月14日 発効 平成 8年 2月14日	
高速自動車国道関越自動車 道上信越道における消防 無線設備等に関する協定	日本道路公団、長野市消防 局、上小地域広域行政事務 組合消防本部	締結 平成 8年11月13日 発効 平成 8年11月13日	専用波 149.13MHz 平成17年10月1日から 東日本高速道路㈱と改称 上田地域広域連合消防本 部と改称
高速自動車道における業務 提携	県内11消防本部	平成 9年10月16日	

# 消防施設車両等

土地・庁舎及び訓練棟

H27.4.1現在

施設区分	建築構造	建築面積	延面積	敷地面積	建築年月日	地籍
消防本部 戸倉上山田署	一部鉄筋コンクリート造 鉄骨2階建	986.83㎡	1,429.88㎡	1,893.18㎡	昭和45年11月2日	大字磯部1221
駐車場				247.00㎡	平成14年2月28日取得	大字磯部557-6
訓練塔 A塔 B塔	鉄骨コンクリート 造6階建 鉄骨造2階建	56.08㎡ 35.75㎡	163.21㎡ 70.00㎡	2,530.39㎡	昭和62年3月30日	大字磯部1339外
高圧ガス (圧縮空気) 施設	コンクリートブロック 造1階建	9.81㎡	9.81㎡	内借地分 472.00㎡	平成5年12月27日	大字磯部1223-1外
更埴署	鉄骨造平屋建	793.21㎡	793.21㎡	1,326.41㎡	昭和42年3月20日	大字杭瀬下84
更埴第二庁舎	鉄骨平屋一部3階	108.33㎡	174.12㎡	1,355.00㎡	平成5年3月29日	大字杭瀬下98-1
坂城署	鉄骨造2階建	512.07㎡	662.71㎡	2,192.38㎡	平成8年9月30日	大字中之条1126-1

現有車両の状況

H27.4.1現在

所属	区分 車両別	車名	登録年 月	排気量 cc	車 両				ポンプ 級別	定員 名	備 考
					全長 m	全幅 m	全高 m	総重量 kg			
消防本部	千曲指揮1	トヨタ	H25.11	2,690	5.38	1.88	2.46	3,060		14	
	千曲査察2	トヨタ	H20.6	1,496	4.30	1.69	1.69	1,425		5	
	千曲広報1	ニッサン	H12.7	1,990	4.52	1.69	1.99	2,170		8	
	千曲査察1	ダイハツ	H12.2	650	3.39	1.47	1.99	1,360		4	
戸倉上山田消防署	戸倉指揮1	ニッサン	H15.9	1,998	4.44	1.76	1.83	1,695		5	
	戸倉タンク1	ヒノ	H11.3	7,960	6.66	2.30	2.75	8,760	A-2	6	水1,700ℓ
	戸倉ポンプ1	ミツビシ	H13.10	5,240	5.86	1.88	2.47	5,200	A-2	6	
	戸倉救助1	ヒノ	H2.10	7,410	7.82	2.30	3.44	9,615		7	
	戸倉梯子1	ヒノ	H9.10	20,780	10.60	2.49	3.56	19,460		6	地上高35m
	戸倉調査1	トヨタ	H17.12	2,690	5.38	1.88	2.46	2,730		10	
	救急戸倉1	トヨタ	H19.12	2,693	5.67	1.89	2.54	3,205		7	高規格救急車1
	救急戸倉2	トヨタ	H23.2	2,693	5.65	1.89	2.49	3,205		7	高規格救急車2
	救急戸倉3	トヨタ	H16.12	3,370	5.66	1.80	2.52	3,075		7	高規格救急車3
	戸倉搬送1	トヨタ	H23.11	4,000	6.06	1.88	2.95	5,355		3	
	戸倉作業1	スズキ	H25.11	650	3.39	1.47	1.76	1,190		2	
	50ccバイク	スズキ	H16.2	49	1.67	0.61	0.99	71		1	
	情報収集伝達用バイク	ヤマハ	H24.5	249	1.98	0.80	1.15	235		2	
	情報収集伝達用バイク	ヤマハ	H25.6	249	1.98	0.80	1.15	235		2	
	情報収集伝達用バイク	ヤマハ	H25.6	249	2.10	0.80	1.15	235		2	
	情報収集伝達用バイク	ヤマハ	H25.6	249	2.10	0.80	1.15	235		2	
更埴消防署	更埴指揮1	トヨタ	H7.8	2,980	4.90	1.69	2.17	2,580		10	
	更埴タンク1	ヒノ	H25.3	6,400	7.33	2.33	2.90	10,870	A-2	6	水2,000ℓ
	更埴ポンプ1	ヒノ	H16.12	4,000	5.76	1.88	2.61	5,375	A-2	5	
	更埴救助1	ヒノ	H4.3	7,410	7.75	2.30	3.33	9,760		6	
	更埴化学1	ヒノ	H10.11	7,960	7.50	2.30	2.95	9,090		6	水1,500ℓ薬500ℓ
	更埴査察1	ホンダ	H16.8	650	3.39	1.47	1.97	1,460		4	
	更埴作業1	スバル	H9.3	650	3.29	1.39	1.96	1,210		2	
	更埴作業2	スズキ	H27.7	650	3.39	1.47	1.76	1,190		2	
	救急更埴1	トヨタ	H18.2	3,370	5.63	1.80	2.52	3,035		7	高規格救急車1
	救急更埴2	トヨタ	H26.11	2,690	5.67	1.89	2.49	3,105		7	高規格救急車2
50ccバイク	ホンダ	S57.7	49	1.80	0.66	1.01	80		1		
坂城消防署	坂城指揮1	ニッサン	H14.10	1,990	4.44	1.76	1.81	1,705		5	
	坂城タンク1	ヒノ	H5.3	7,410	6.69	2.20	2.84	8,730	A-2	6	水2,000ℓ
	坂城化学1	ヒノ	H14.1	7,960	7.04	2.28	2.83	9,700	A-1	6	水1,500ℓ薬500ℓ
	坂城作業1	ダイハツ	H13.2	650	3.39	1.47	1.78	1,230		2	
	救急坂城1	トヨタ	H24.8	2,690	5.65	1.89	2.49	3,195		7	高規格救急車1
50ccバイク	ヤマハ	S62.5	49	1.67	0.61	0.99	71		1		

消 防 無 線 局(アナログ)					一 一 九 専 用 電 話	防 災 行 政 無 線	加 入 電 話	有 線 放 送 電 話	救 急 医 療 情 報 シ ス テ ム	河 川 情 報 シ ス テ ム	フ ァ ク シ ミ リ	自 動 車 専 用 電 話
局 別	基 地 局	移 動 局										
周 波 数	150MHz(10波)											
空 中 線 電 力	10W	10W	5W	1W								
運 用 数	7(4)	33	40	14	29	1	9	5	3	1	4	8

※( )高速道トンネル内無線装置

消防無線(アナログ)の状況 1

署別	局 別	呼出名称(局)	空中線電力	備 考	
本 部	基 地 局 (兼 固定局)	しょうぼうちくま	10 W	指令室(第1装置)	
			10 W	指令室(第2装置)	
			10 W	指令室(第3装置)	
			10 W	指令室(第4装置)	
			10 W	指令室(第5装置)	
	陸上移動局(車両)	ちくま	1	10 W	査察車2 広報車 査察車1
			2	10 W	
			3	10 W	
			4	10 W	
			5	10 W	
			6	10 W	
	陸上移動局(携帯)	ちくま	50	5 W	
			51	5 W	
			52	1 W	
			53	1 W	
	基 地 局 (高速自動車道)	ごりがみね たろうやま ありあけ いっぽんまつ		10 W	(トンネル内無線装置)
				10 W	(トンネル内無線装置)
				10 W	(トンネル内無線装置)
			10 W	(トンネル内無線装置)	
戸 倉 上 山 田 署	陸上移動局	とぐら	10	10 W	指令車 タンク車 ポンプ車 救助工作車 はしご車 資機材搬送車 軽トラック 支援車(原因調査車) 高規格救急車 高規格救急車 高規格救急車(予備)
		とぐら	11	10 W	
		とぐら	12	10 W	
		とぐら	13	10 W	
		とぐら	15	10 W	
		とぐら	16	10 W	
		とぐら	17	10 W	
		とぐら	18	10 W	
		きゅうきゅうとぐら	1	10 W	
		きゅうきゅうとぐら	2	10 W	
	きゅうきゅうとぐら	3	10 W		
	陸上移動局(携帯)	きゅうきゅうとぐら	101	5 W	
		きゅうきゅうとぐら	102	5 W	
		とぐら	103	5 W	
		とぐら	104	5 W	
		とぐら	105	1 W	
		とぐら	106	1 W	
		とぐら	107	5 W	
とぐら		108	5 W		
とぐら	109	5 W			
とぐら	110	5 W			

		とぐら 111	5 W	
		とぐら 112	1 W	
		とぐら 113	1 W	
		とぐら 114	1 W	
		とぐら 115	1 W	
		とぐら 116	1 W	
		とぐら 117	1 W	
		とぐら 118	1 W	
		とぐら 119	1 W	
		とぐら 120	5 W	
		とぐら 121	5 W	
更 埴 署	基地局 (兼 固定局)	しょうぼうこうしょく	10 W	(第1装置)
			10 W	(第2装置)
	陸上移動局(車両)	こうしょく 20	10 W	指令車
		こうしょく 21	10 W	タンク車
		こうしょく 22	10 W	ポンプ車
		こうしょく 23	10 W	救助工作車
		こうしょく 24	10 W	化学車
		こうしょく 26	10 W	査察車
		こうしょく 27	10 W	軽トラック
		こうしょく 28	10 W	軽トラック
		きゅうきゅうこうしょく 1	10 W	高規格救急車
		きゅうきゅうこうしょく 2	10 W	高規格救急車
	陸上移動局(携帯)	きゅうきゅうこうしょく 201	5 W	
		きゅうきゅうこうしょく 202	5 W	
		きゅうきゅうこうしょく 203	5 W	
		こうしょく 204	5 W	
		こうしょく 205	5 W	
		こうしょく 206	5 W	
		こうしょく 207	5 W	
		こうしょく 208	5 W	
こうしょく 209		5 W		
こうしょく 210		5 W		
こうしょく 211		5 W		
こうしょく 212		5 W		
こうしょく 213		5 W		
こうしょく 214		5 W		
こうしょく 215		5 W		
こうしょく 216		5 W		
こうしょく 217		5 W		
こうしょく 218		5 W		
こうしょく 219	5 W			
こうしょく 220	5 W			
坂 城 署	基地局(兼 固定局)	しょうぼうさかき	10 W	
	陸上移動局(車両)	さかき 30	10 W	指令車
		さかき 31	10 W	タンク車
		さかき 34	10 W	化学車
		さかき 37	10 W	軽トラック
		きゅうきゅうさかき 1	10 W	高規格救急車
	陸上移動局(携帯)	きゅうきゅうさかき 301	5 W	
		さかき 302	5 W	
		さかき 303	5 W	
		さかき 304	5 W	
さかき 305		5 W		
さかき 306		1 W		
さかき 307		1 W		
さかき 308		5 W		

通信設備（デジタル）の状況 2 H27.4.1 現在

消防無線局（デジタル）			
局別	基地局	移動局	
周波数	274MHz	265MHz	
空中線電力	20w	10w	5w
運用数	1	33	40

消防無線（デジタル）の状況 2 H27.4.1 現在

署別	局別	呼出名称（局）	空中線電力	備考
本 部	基地局・固定局	ちくましょうぼう	20w	指令室（第1装置）
			20w	指令室（第2装置）
			20w	指令室（第3装置）
			20w	指令室（第4装置）
			20w	指令室（第5装置）
			20w	指令室（第6装置）
	陸上移動局（車載）	ちくましき1 ちくまささつ2 ちくまこうほう1 ちくまささつ1	10w	指令車
			10w	査察車
			10w	広報車
			10w	査察車
	陸上移動局（可搬）	ちくましれい1	10w	
	陸上移動局（携帯）	ちくま10 ちくま11 ちくま12 ちくま13 ちくま14	5w	
			5w	
			5w	
			5w	
5w				
戸 倉 上 山 田 署	陸上移動局（車載）	とぐらしき1	10w	指令車
		とぐらタンク1	10w	タンク車
		とぐらポンプ1	10w	ポンプ車
		とぐらきゅうじょ1	10w	救助工作車
		とぐらはしご1	10w	梯子車
		とぐらはんそう1	10w	資機材搬送車
		とぐらさぎょう1	10w	軽トラック
		とぐらちょうさ1	10w	火災原因調査車
		きゅうきゅうとぐら1	10w	高規格救急車
		きゅうきゅうとぐら2	10w	高規格救急車

		きゅうきゅうとぐら 3	10w	高規格救急車
	陸上移動局（携帯）	とぐら 10 とぐら 11 とぐら 12 とぐら 13 とぐら 14 とぐら 15 とぐら 16 とぐら 17 とぐら 18 とぐら 19 とぐら 20 とぐら 21 とぐら 22 とぐら 23	5w 5w 5w 5w 5w 5w 5w 5w 5w 5w 5w 5w 5w	
更 埴 署	陸上移動局（卓上）	こうしょくしょうぼう 1	10w	
	陸上移動局（車載）	こうしょくしき 1	10w	指令車
		こうしょくタンク 1	10w	タンク車
		こうしょくポンプ 1	10w	ポンプ車
		こうしょくきゅうじょ 1	10w	救助工作車
		こうしょくかがく 1	10w	化学車
		こうしょくささつ 1	10w	査察車
		こうしょくさぎょう 1	10w	軽トラック
		こうしょくさぎょう 2	10w	軽トラック
		きゅうきゅうこうしょく 1	10w	高規格救急車
		きゅうきゅうこうしょく 2	10w	高規格救急車
	陸上移動局（携帯）	こうしょく 10 こうしょく 11 こうしょく 12 こうしょく 13 こうしょく 14 こうしょく 15 こうしょく 16 こうしょく 17 こうしょく 18 こうしょく 19 こうしょく 20 こうしょく 21 こうしょく 22 こうしょく 23	5w 5w 5w 5w 5w 5w 5w 5w 5w 5w 5w 5w 5w	

坂 城 署	陸上移動局（卓上）	さかきしょうぼう 1	10w	
	陸上移動局（車載）	さかきしき 1	10w	指令車
		さかきタンク 1	10w	タンク車
		さかきかがく 1	10w	化学車
		さかきさぎょう 1	10w	軽トラック
		きゅうきゅうさかき 1	10w	高規格救急車
	陸上移動局（携帯）	さかき 10	5w	
		さかき 11	5w	
		さかき 12	5w	
		さかき 13	5w	
さかき 14		5w		
さかき 15		5w		
さかき 16	5w			

予

防



# 火 災

平成26年中の火災件数は40件で、前年より9件の減少となっています。

火災件数の内訳は建物火災が17件、その他火災が12件、車両火災が9件、林野火災が1件、爆発が1件となっています。前年と比較すると建物火災及び車両火災が増加し、その他火災は減少しています。

出火原因別ではたき火が7件、たばこ、排気管が5件で上位を占めています。損害額は5,795万円余りで昨年に比べ、およそ1,822万円の増加となりました。

車両火災が前年と比較すると7件増加していますが、出火原因としては、日ごろからの点検や整備不良により排気管から出火したものが多くなっています。

## 平成26年中の火災と前年比較

△…減

区 分	H26年(A)	H25年(B)	増減 (C) (A) - (B)	
出火件数	40	49	△9	
建物	17	15	2	
林野	1	1	0	
車両	9	2	7	
爆発	1	1	0	
その他	12	30	△18	
焼損棟数	26	17	9	
全焼	6	4	2	
半焼	1	0	1	
部分焼	9	5	4	
ぼや	10	8	2	
建物焼損面積(m <sup>2</sup> )	917	392	525	
建物焼損表面積(m <sup>2</sup> )	57	11	46	
林野焼損面積(a)	0.2	50	△49.8	
死者	0	0	0	
負傷者	4	2	2	
罹災世帯数	20	9	11	
全損	6	1	5	
半損	0	0	0	
小損	14	8	6	
罹災人員	40	23	17	
損害額合計(千円)	57,957	39,732	18,225	
内 訳	建築	53,695	48,881	4,814
	林野	0	0	0
	車両	3,543	3,411	132
	その他	719	2,931	△2,212
出火率	5.3	6.3	△1.0	

月別・市町別火災状況

H26年中

月別	計	市町別		火災種別					焼損棟数				焼損面積			死傷者数		り災世帯数				り災者数	焼 損 見 積 額 (千円)								
		千曲市	坂城町	建物	林野	車両	爆発	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物㎡	建物表㎡	林野a	死者	負傷者	計	全損	半損		小損	計	建 物			林野	車両	爆発	その他
																									小計	建物	収容物				
計	40	30	10	17	1	9	1	12	26	6	1	9	10	917	58	0.2	0	4	20	6	0	14	40	57,957	53,695	27,946	25,749	0	3,543	0	719
1	6	5	1	4	0	1	0	1	4	1	1	2	0	283.1	3	0	0	0	8	4	0	4	11	12,001	11,701	9,940	1,761	0	300	0	0
2	6	5	1	3	0	3	0	0	3	1	0	0	2	164.2	0	0	0	2	1	0	0	1	2	1,649	1,319	980	339	0	327	0	3
3	2	2	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	4	9	9	9	0	0	0	0	0
4	5	4	1	0	0	0	1	4	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	4	24	0	0	0	0	0	0	24
5	6	4	2	1	1	3	0	1	1	0	0	1	0	31.08	0	0.2	0	0	0	0	0	0	0	2,792	581	297	284	0	2,092	0	119
6	4	3	1	2	0	1	0	1	2	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	1	4	406	0	0	0	0	406	0	0	
7	2	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	304	304	0	304	0	0	0	0
8	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	110	110	0	110	0	0	0	0
9	4	4	0	2	0	0	0	2	10	3	0	6	1	311.1	55	0	0	0	6	1	0	5	12	36,817	36,034	13,434	22,600	0	215	0	568
10	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5	
11	2	1	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	83	3	0	3	0	80	0	0	
12	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	127.7	0	0	0	1	1	1	0	0	2	3,757	3,634	3,286	348	0	123	0	0
市町別	千曲市			12	1	6	1	10	21	5	1	7	8	758.4	55	0.2	0	3	18	5	0	13	35	52,866	49,132	24,319	24,813	0	3,020	0	714
	坂城町			5	0	3	0	2	5	1	0	2	2	159	3	0	0	1	2	1	0	1	5	5,091	4,563	3,627	936	0	523	0	5

火災原因別発生状況

( )内は25年中

出火原因	計	市 町 別	
		千曲市	坂城町
計	40(49)	30(40)	10(9)
たき火	7(28)	4(22)	3(6)
コンロ	0(3)	0(2)	0(1)
たばこ	5(1)	4(1)	1(0)
放火又は放火の疑い	3(4)	2(3)	1(1)
電気機器	2(0)	2(0)	0(0)
ストーブ	2(1)	2(1)	0(0)
煙突・煙道	2(1)	1(1)	1(0)
火あそび	1(1)	1(1)	0(0)
炉	0(0)	0(0)	0(0)
こたつ	0(0)	0(0)	0(0)
電灯・電話等の配線	1(1)	1(1)	0(0)
排気管	5(0)	4(0)	1(0)
その他	8(4)	6(4)	2(0)
不明	2(3)	2(3)	0(0)
火入れ	0(0)	0(0)	0(0)
風呂かまど	0(1)	0(1)	0(0)
溶接機	1(0)	0(0)	1(0)
取灰	1(0)	1(0)	0(0)
落雷	0(1)	0(0)	0(1)

用途別火災発生状況( )内は25年中

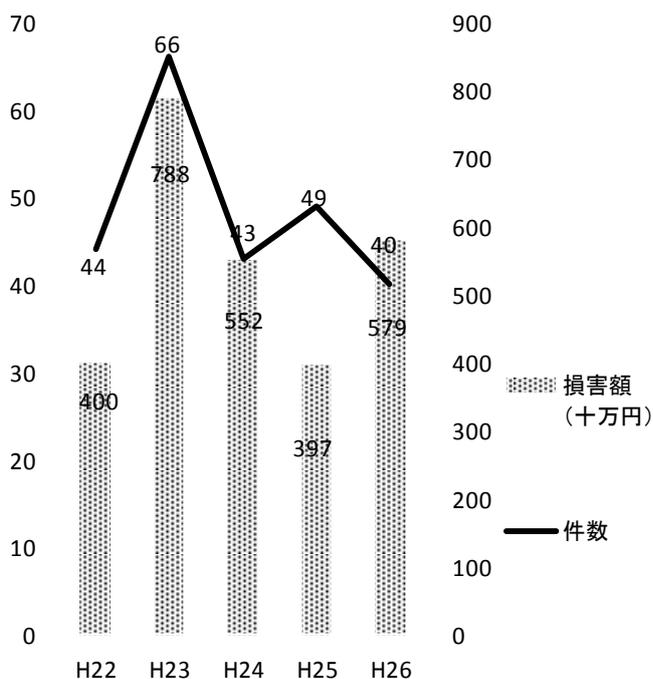
用 途	件 数
計	40(49)
住宅(共同・併用含)	10(7)
物置・倉庫	2(3)
旅館・宿泊所	0(1)
店 舗	4(0)
工 場	1(2)
事 務 所	1(0)
林 野	1(1)
車 両	9(2)
河 川 敷	3(10)
田 畑	3(13)
そ の 他	6(10)

時刻別火災発生状況 ( )内は25年中

時 刻	件 数
計	40(49)
0 ~ 2	1(0)
2 ~ 4	1(0)
4 ~ 6	2(1)
6 ~ 8	1(0)
8 ~ 10	1(1)
10 ~ 12	4(12)
12 ~ 14	4(9)
14 ~ 16	8(7)
16 ~ 18	3(2)
18 ~ 20	7(6)
20 ~ 22	3(2)
22 ~ 24	3(2)
不 明	2(7)

火災件数と損害額の推移

H26年中  
損害額 57,957千円  
火災件数40件



# 危 険 物

危険物施設市町別状況(設置許可数)

H27.4.1現在

施設数		市町別	計	千 曲 市	坂 城 町
計			393	235	158
貯 蔵 所	屋 内		29	14	15
	屋外タンク		38	12	26
	屋内タンク		7	5	2
	地下タンク		145	96	49
	簡易タンク				
	移動タンク		70	33	37
	屋 外		1		1
取 扱 所	給 油		40	33	7
	一 般		62	42	20
	移 送		1		1

数量別危険物施設状況

H27.4.1現在

施設別		数量別	計	5 倍 以 下	5 倍を 超え 10 倍以 下	10	50	100	150	200	1,000	5,000	10,000
計			393	179	74	55	35	12	10	20	6	1	1
貯 蔵 所	屋 内		29	16	7	5	1						
	屋外タンク		38	11	3	4	1	1	2	9	6		1
	屋内タンク		7	5	1	1							
	地下タンク		145	81	34	28	2						
	簡易タンク												
	移動タンク		70	37		1	23	9					
	屋 外		1	1									
取 扱 所	給 油		40		5	7	8	2	8	10			
	一 般		62	28	24	9						1	
	移 送		1							1			

危険物事務処理状況

H26年中

施設別	区分	計	許可		完成検査		タンク検査		仮使用	仮貯蔵 仮取扱	廃止 届等
			設置	変更	設置	変更	水張	水圧			
計		76	6	15	6	15	20	0	7	0	7
貯蔵所	屋内	2	1		1						
	屋外タンク	4		1		1	1		1		
	屋内タンク	0									
	地下タンク	17		6		6					5
	移動タンク	7	3		3						1
取扱所	給油	20		7		7			5		1
	一般	4	2		2						
	移送	3		1		1			1		
その他		19					19				

少量危険物届出状況

H26年中

市町別	品名別	計	灯油		重油		軽油		その他	
				ℓ		ℓ		ℓ		ℓ
計		31	19	7,302 ℓ	2	2,390 ℓ	2	1,380 ℓ	8	5,874 ℓ
千曲市		22	13	5,058 ℓ	2	2,390 ℓ	2	1,380 ℓ	5	1,843 ℓ
坂城町		9	6	2,244 ℓ	0	0 ℓ	0	0 ℓ	3	4,031 ℓ

危険物施設立入検査状況

H26年中

施設別	月別	合計	12ヶ月											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
合計		180	0	0	0	11	4	72	22	0	5	3	60	3
計		135	0	0	0	8	2	42	18	0	4	3	56	2
貯蔵所	屋内	5						2	2			1		
	屋外タンク	26						2	5				19	
	屋内タンク	3							1			1	1	
	地下タンク	53				8	2	26	7		4	1	3	2
	簡易タンク	0												
	移動タンク	47						12	2					33
	屋外	1							1					
計		45	0	0	0	3	2	30	4	0	1	0	4	1
取扱所	給油	21						20	1					
	一般	23				3	2	10	3		1		3	1
	移送	1											1	

# 予 防

## 防火管理

管内の防火対象物は、およそ2,900棟あり、特徴的なこととしては、工場、作業場、共同住宅、旅館及びホテルの占める割合が高いことです。立入検査については、年1回以上実施する第1種査察対象物を始め消防長特命の第4種査察対象物等に区分して防火対象物の把握に努めていますが、容易でないことが実情です。そのため、立入検査は当然のこと、各種訓練指導や関連検査等も日勤者、当直者、非番者を問わず実施することが少なくありません。

### 防火対象物の現況(延べ面積150㎡以上)

H27. 4. 1現在

別表区分	市町別	計	千曲市	坂城町
	計	2,934	2,252	682
1	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場	1	1	0
	ロ 公会堂、集会場	106	78	28
2	ロ 遊戯場、ダンスホール	8	7	1
2	ニ カラオケボックス等	2	2	0
3	ロ 飲食店	69	58	11
4	百貨店、店舗、マーケット、展示場	106	87	19
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所	63	61	2
	ロ 寄宿舍、下宿、共同住宅	508	415	93
6	イ 病院、診療所、助産所	31	26	5
	ロ 福祉施設、救護施設、援護施設等	35	29	6
	ハ 保育園、盲学校、ろう学校、養護学校	54	43	11
	ニ 幼稚園、又は特別支援学校	5	4	1
7	小学校、中学校、高等学校、大学校の類	70	57	13
8	図書館、博物館、美術館の類	10	8	2
9	ロ 9項イ以外の公衆浴場	8	7	1
10	車両の停車場、船舶又は航空機の発着場	4	3	1
11	神社、寺院、教会の類	57	45	12
12	イ 工場、作業場	753	487	266
13	イ 自動車車庫、駐車場	10	6	4
14	倉庫	320	246	74
15	1～14項に該当しない事業場	332	258	74
16	イ 特定防火対象物が存在する複合用途防火対象物	261	232	29
	ロ その他の複合用途防火対象物	114	86	28
17	重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡等の建造物	7	6	1

中高層建物市町別・階層別・用途別状況

H27.4.1現在

市町別 \ 階 別	計	3	4	5	6	7	8	9	11	13
計	333	230	52	29	13	4	1	1	2	1
千 曲 市	274	184	44	26	12	4	1		2	1
坂 城 町	59	46	8	3	1			1		
1-口	1	1								
2-口										
2-二	1	1								
3-口	10	7	1							
4	3	3								
5-イ	36	10	9	7	8		1			
5-口	84	46	14	10	1	1			1	1
6-イ	3	1		1						
6-口	8	2	3	1						
6-ハ	2									
7	28	16	3							
12-イ	45	34	1	1	3					
14	10	5	2							
15	43	20	9	2				1		
16-イ	74	61	9	6	1	3			1	
16-口	24	23	1	1						

防火管理実施状況

H27.4.1現在

種 別 \ 別表区分	計	1 項 イ	1 項 ロ	2 項 ロ	2 項 ニ	3 項 ロ	4 項	5 項 イ	5 項 ロ	6 項 イ	6 項 ロ	6 項 ハ	6 項 ニ	7 項	8 項	9 項 ロ	10 項	11 項	12 項 イ	14 項	15 項	16 項 イ	16 項 ロ
防火管理者 選任義務 対象物	748	1	105	8	2	61	76	51	11	5	33	35	4	22	8	8	1	33	55	16	59	144	10
防火管理者 選任 届出済数	611	1	78	8	2	51	57	43	10	5	32	35	4	22	7	8	1	23	53	15	41	104	11
消防計画 届出済数	537	1	68	7	2	40	47	39	11	5	31	34	4	22	5	5	1	16	51	5	48	86	9

防火対象物の立入検査実施状況

H26年中

市町別		計	H26年中	
別表区分			千 曲 市	坂 城 町
計		451	326	125
1	イ	0	0	0
	ロ	2	1	1
2	ロ	2	2	0
	ニ	0	0	0
3	ロ	19	17	2
4		20	14	6
5	イ	14	12	2
	ロ	4	3	1
6	イ	12	8	4
	ロ	35	29	6
	ハ	46	36	10
	ニ	3	2	1
7		20	7	13
8		1	0	1
9	ロ	2	2	0
10		0	0	0
11		11	10	1
12	イ	87	47	40
13	イ	3	0	3
14		14	3	11
15		51	36	15
16	イ	74	71	3
	ロ	29	25	4
17		2	1	1

防火管理講習実施状況

年	講習終了者数
	4,189
昭和43年～平成16年	3,068
平成17年	101
18	100
19	107
20	139
21	123
22	121
23	119
24	103
25	104
26	104

条例関係等各種届出状況

H26年中

届出等別	計
	1,417
消防用設備等着工	34
消防用設備等設置	59
消防用設備等検査済証交付	51
消防用設備等点検結果報告	819
防火管理者選(解)任	125
消防計画(変更含)	179
炉・ボイラー・サウナ等設置	19
変電・発電・蓄電池設備	25
煙火打上げ	63
催物開催	3
禁止行為等解除申請	4
防火対象物使用開始	36

用途別・工事別・建築同意

H26年中

用途別	工事別	計	新築	増築	改築	再同意	用途変更
計		91	76	11	1	2	1
集会場							
遊技場							
店舗		10	8	1		1	
ホテル							1
共同住宅		6	6				
病院・診療所		1	1				
保育所		0					
学校		1		1			
福祉施設		2	2				
寺院・神社							
公衆浴場							
工場・作業場		16	11	3	1	1	
車庫		8	7	1			
倉庫		20	17	3			
事務所・その他		9	9				
複合用途		2	1	1			
住宅		15	14	1			
飲食店							
文化財							

防火対象物の点検報告等対象物数

H27.4.1現在

区分	市町別		
	計	千曲市	坂城町
防火対象物点検報告対象物 (300人以上施設) (特定1階段施設)	67	58	9
	14	14	0

警防 · 救急



# 出 動

火災等出動状況(野火等の出動含む)

H26年中

月別 区分	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
出動件数	54	7	7	3	3	7	4	4	5	5	2	3	4
出動人員	864	126	121	30	51	114	69	47	72	98	25	42	69

救助出動状況

H26年中

事故別 区分	計	交通事故	機械等による事故	建物等による事故	風水自然災害	その他 (行方不明含む)
出動件数	39	28	2	1		8
出動人員	422	311	21	8		82
活動件数	16	9	1	1		5
救助人員	16	9	1	1		5

その他災害出動状況

H26年中

事故別 区分	計	捜索	救急支援 Dr.へJ	救急支援	危険物流出	自然災害	偵察	警戒	有害鳥獣	焚火指導	火災原因調 査	その他
出動件数	156	14	25	35	28	2	20	5	0	5	3	19
出動人員	727	179	135	99	95	11	81	18	0	17	9	83

※「その他」は、長野県消防相互応援協定に基づく出動含む

車両別出動状況

H26年中

種別 車両別	計	火災	救急	救助	演習訓練	警戒	広報	点検検査	業務連絡	風水害	地水利	捜索		
合計	回数	6,849	206	3,271	61	242	109	103	209	2,443	26	120	59	
	人員	16,788	673	10,169	208	569	281	162	451	3,859	45	255	116	
小計	回数	924	42	27	14	16	13	16	33	727	0	11	25	
	人員	1,743	106	90	33	45	27	17	65	1,282	0	23	55	
本 部	指令車	回数	123	40	24	13	3	2	-	1	34	-	-	6
		人員	321	103	84	30	12	4	-	2	72	-	-	14
	原調車	回数	300	-	-	-	2	3	5	16	267	-	-	7
		人員	495	-	-	-	5	5	6	31	433	-	-	15
	広報車	回数	220	-	-	1	8	5	-	8	194	-	-	4
		人員	473	-	-	3	24	11	-	17	408	-	-	10
査察車	回数	281	2	3	-	3	3	11	8	232	-	11	8	
	人員	454	3	6	-	4	7	11	15	369	-	23	16	
小計	回数	2,418	75	1,364	26	34	20	7	9	835	17	15	16	
	人員	6,030	267	4,237	99	87	60	13	15	1,183	21	28	20	
戸 倉 上 山 田	指令車	回数	116	2	6	1	-	1	5	6	93	-	-	2
		人員	225	7	15	3	-	2	9	10	175	-	-	4
	タンク車	回数	75	39	6	-	-	11	-	1	18	-	-	-
		人員	266	157	24	-	-	42	-	1	42	-	-	-
	ポンプ車	回数	26	14	-	-	2	-	-	-	9	-	1	-
		人員	79	51	-	-	8	-	-	-	17	-	3	-
	救助工作車	回数	48	1	2	23	2	1	-	-	19	-	-	-
		人員	144	2	6	91	7	3	-	-	35	-	-	-
	梯子車	回数	22	-	-	-	7	-	-	-	15	-	-	-
		人員	60	-	-	-	30	-	-	-	30	-	-	-
	軽トラ	回数	553	2	2	-	10	1	-	1	526	1	10	-
		人員	602	3	2	-	17	1	-	2	558	2	17	-
	軽トラ2	回数	41	-	-	-	2	-	-	-	33	-	4	2
		人員	52	-	-	-	4	-	-	-	36	-	8	4
支援車	回数	66	14	-	-	1	-	1	1	45	4	-	-	
	人員	220	38	-	-	4	-	1	2	168	7	-	-	

戸倉上山田	資機材搬送車	回数	25	-	-	1	3	-	-	-	20	-	-	1
		人員	42	-	-	2	6	-	-	-	33	-	-	1
	救急1	回数	270	-	253	-	1	2	1	-	13	-	-	-
		人員	805	-	766	-	3	6	3	-	27	-	-	-
	救急2	回数	1,093	3	1,077	1	-	-	-	-	12	-	-	-
		人員	3,412	9	3,370	3	-	-	-	-	30	-	-	-
	救急3	回数	41	-	18	-	1	1	-	-	21	-	-	-
		人員	81	-	54	-	3	3	-	-	21	-	-	-
	バイク	回数	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
		人員	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	情報収集伝達用バイク1	回数	10	-	-	-	1	1	-	-	3	3	-	2
		人員	10	-	-	-	1	1	-	-	3	3	-	2
	情報収集伝達用バイク2	回数	10	-	-	-	2	-	-	-	3	2	-	3
		人員	10	-	-	-	2	-	-	-	3	2	-	3
	情報収集伝達用バイク3	回数	10	-	-	-	1	1	-	-	2	3	-	3
		人員	10	-	-	-	1	1	-	-	2	3	-	3
情報収集伝達用バイク4	回数	11	-	-	-	1	1	-	-	2	4	-	3	
	人員	11	-	-	-	1	1	-	-	2	4	-	3	
小計	回数	2,452	67	1,299	21	147	66	40	108	625	8	57	14	
	人員	6,335	219	4,047	76	347	169	75	249	980	22	119	32	
更埴	化学車	回数	33	9	-	-	9	2	1	1	11	-	-	-
		人員	80	25	-	-	23	8	2	3	19	-	-	-
	救助工作車	回数	39	2	-	14	3	1	2	-	15	1	-	1
		人員	122	8	-	60	6	4	4	-	30	5	-	5
	タンク車	回数	76	26	1	-	9	12	6	3	12	-	7	-
		人員	242	101	3	-	24	42	18	10	23	-	21	-
	ポンプ車	回数	41	10	-	-	11	-	3	-	10	-	7	-
		人員	109	37	-	-	27	-	7	-	19	-	19	-
	指令車	回数	97	9	8	4	15	7	2	13	36	2	-	1
		人員	317	25	20	10	47	19	4	44	141	5	-	2
	査察車	回数	385	1	-	1	67	10	15	65	213	3	3	7
		人員	719	4	-	2	155	20	21	141	347	8	5	16
	軽トラ1	回数	204	9	-	-	23	17	4	10	129	1	8	3
		人員	301	17	-	-	46	32	5	20	160	2	14	5
	軽トラ2	回数	248	1	-	2	10	6	4	16	181	1	25	2
		人員	322	2	-	4	19	12	5	31	204	2	39	4
救急1	回数	239	-	229	-	-	4	1	-	5	-	-	-	
	人員	725	-	700	-	-	12	3	-	10	-	-	-	
救急2	回数	1,090	-	1,061	-	-	7	2	-	13	-	7	-	
	人員	3,398	-	3,324	-	-	20	6	-	27	-	21	-	
バイク	回数		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	人員		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
小計	回数	1,055	22	581	0	45	10	40	59	256	1	37	4	
	人員	2,680	81	1,795	0	90	25	57	122	414	2	85	9	
坂城	化学車	回数	24	9	-	-	1	2	-	-	10	-	2	-
		人員	70	34	-	-	4	8	-	-	16	-	8	-
	タンク車	回数	54	9	-	-	13	2	-	-	22	-	8	-
		人員	136	37	-	-	26	6	-	-	38	-	29	-
	救急1	回数	625	-	581	-	-	-	8	-	28	-	8	-
		人員	1,922	-	1,795	-	-	-	24	-	79	-	24	-
	指令車	回数	151	3	-	-	7	3	32	50	51	-	3	2
		人員	285	8	-	-	18	5	33	105	105	-	6	5
	軽トラ	回数	201	1	-	-	24	3	-	9	145	1	16	2
		人員	267	2	-	-	42	6	-	17	176	2	18	4
バイク	回数	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	人員	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

# 訓 練

## 職員訓練状況

H26年中

種別		月別												
		計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
訓練計	回数	205	8	11	15	44	31	24	20	4	13	12	17	6
	時間	293	10	7	20	71	45	36	31	5	17	17	24	13
	人員	1,628	67	115	110	329	226	184	166	28	99	98	145	61
各車種両訓練係	回数	78	2	5	3	19	16	9	7	1	7	2	6	1
	時間	112	2	3	3	35	25	12	9	1	10	2	9	2
	人員	482	17	50	14	113	91	51	47	5	36	13	40	5
各救種助訓練養	回数	127	6	6	12	25	15	15	13	3	6	10	11	5
	時間	182	8	4	17	37	21	24	23	4	7	15	15	11
	人員	1,146	50	65	96	216	135	133	119	23	63	85	105	56

## 救助隊訓練状況

H26年中

種別		月別												
		計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
回数	96	4	3	3	12	22	17	14	16	4	1	-	-	
時間	265	12	9	9	36	66	50	34	35	12	3	-	-	
人員	1,629	57	29	48	290	506	377	126	143	44	9	-	-	

## 消防団訓練指導等の状況

H26年中

種別		月別												
		計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
回数	31	2	-	-	2	6	15	5	-	-	-	1	-	
時間	61	5	-	-	4	11	28	11	-	-	-	2	-	
人員	1,459	347	-	-	289	93	570	158	-	-	-	2	-	

# 救 急

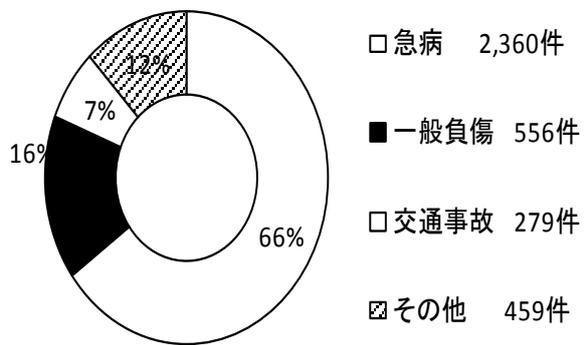
平成26年中の救急出動件数は3,654件で、前年の救急出動件数を234件上回りました。1日当りにすると約10件の割合で出動したことになります。

救急出場は今後、高齢化社会への進展や疾病構造の変化等の社会背景により、ますます増加することが予想される一方、救急患者受け入れ病院の減少など、一部に難しい問題も抱えています。

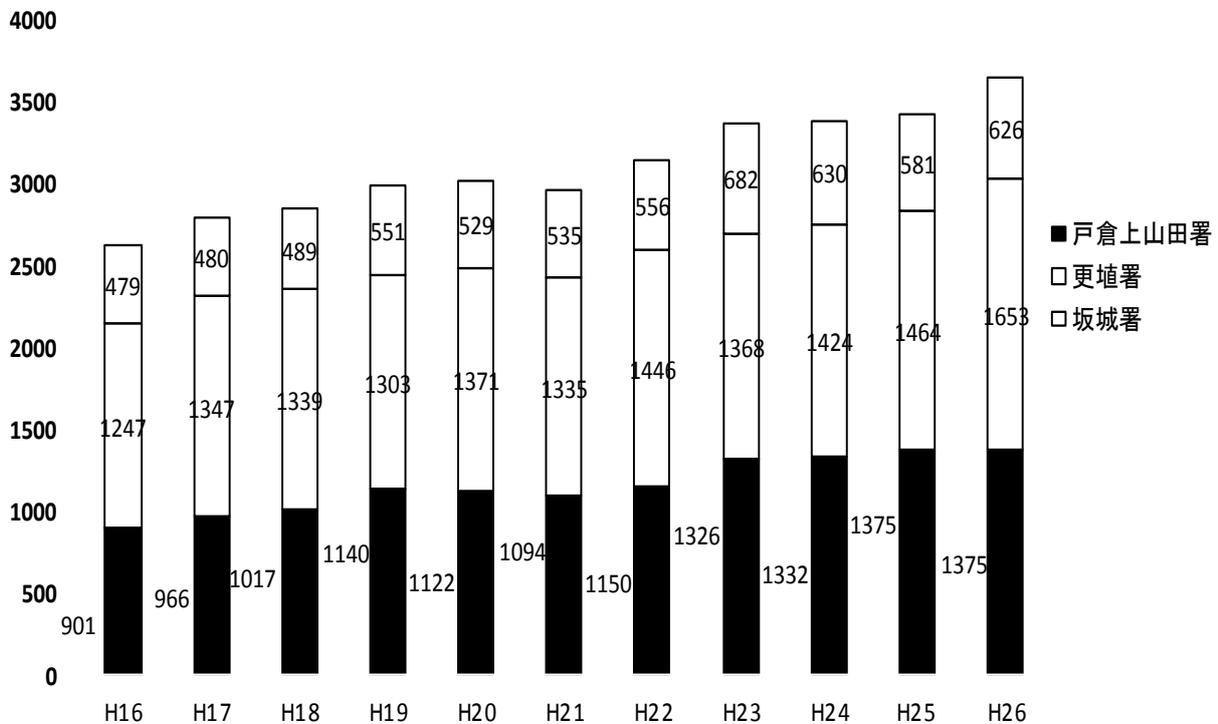
**救急状況** H26年中

救 急 出 動 件 数	3,654
不 搬 送 件 数	176
搬 送 人 員	3,522
人 当 一 市 一 町 口 の (高速道含む)	440
一 出 動 割 合	441
万 人	408
人	

**事故種別出動状況**  
(総出動件数3,654件)



**救急出動の変化**



月別救急状況

H26年中

種別 月別	出動件数	搬送人員	事故種別														
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資材搬送	その他	不搬送
計	3,654	3,522	8	0	2	279	37	29	556	12	39	2,360	323	0	0	9	176
1月	317	308	2	0	0	16	1	2	43	2	2	219	29	0	0	1	15
2月	352	335	3	0	1	16	5	2	65	1	4	227	27	0	0	1	17
3月	307	297	0	0	0	24	4	2	45	1	7	201	23	0	0	0	11
4月	269	253	1	0	1	18	3	4	34	1	4	180	22	0	0	1	19
5月	273	264	0	0	0	24	5	2	37	0	4	168	32	0	0	1	9
6月	262	252	0	0	0	28	3	3	28	4	7	165	24	0	0	0	14
7月	333	325	0	0	0	23	3	1	57	0	3	216	28	0	0	2	10
8月	315	309	0	0	0	21	1	4	37	1	1	218	32	0	0	0	14
9月	268	261	1	0	0	26	2	2	49	0	0	170	18	0	0	0	13
10月	308	294	0	0	0	29	4	2	51	0	3	192	25	0	0	2	15
11月	288	271	0	0	0	16	3	2	44	1	3	193	26	0	0	0	22
12月	362	353	1	0	0	38	3	3	66	1	1	211	37	0	0	1	17
前年	3,420	3,273	1	0	2	253	23	32	539	19	32	2,210	297	0	0	12	188
増減	234	249	7	0	0	26	14	△3	17	△7	7	150	26	0	0	△3	△12

市町別救急状況

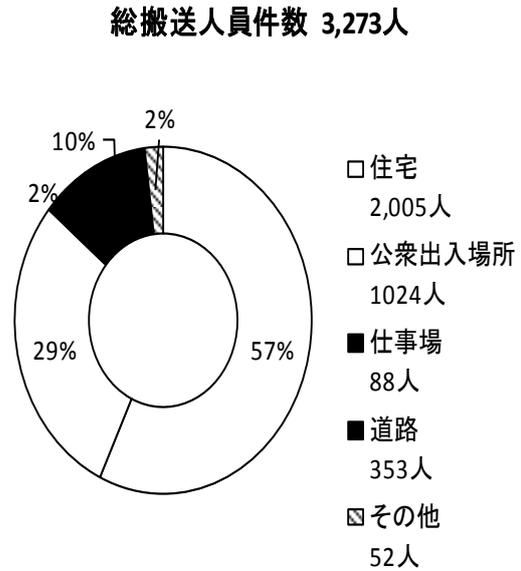
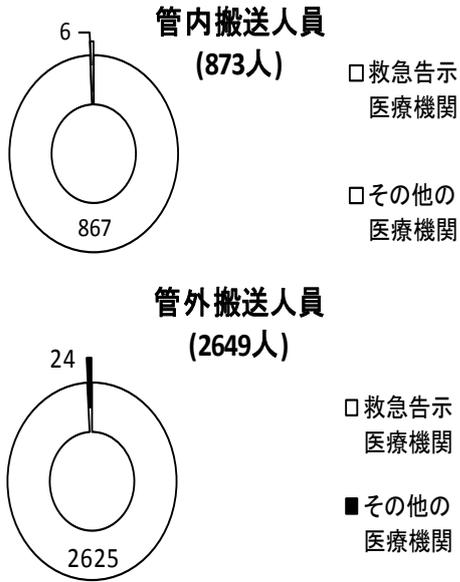
H26年中

市町村別	種別	合計	事故種別														
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資材搬送	その他	不搬送
千曲市	出動件数	2,926	5	0	1	196	24	21	445	9	28	1,912	279	0	0	6	137
	救急件数	2,792	3	0	1	181	23	20	433	7	22	1,822	279	0	0	1	
	搬送人員	2,819	3	0	1	198	23	20	434	8	22	1,830	279	0	0	1	
三城町	出動件数	692	1	0	1	57	13	8	111	3	11	440	44	0	0	3	33
	救急件数	656	1	0	0	52	13	8	110	3	8	417	43	0	0	1	
	搬送人員	664	1	0	0	58	13	8	111	4	8	417	43	0	0	1	
併合高速道路その他	出動件数	36	2	0	0	26	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	6
	救急件数	30	0	0	0	22	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	
	搬送人員	39	0	0	0	31	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	
合計	出動件数	3,654	8	0	2	279	37	29	556	12	39	2,360	323	0	0	9	176
	救急件数	3,478	4	0	1	255	36	28	543	10	30	2,247	322	0	0	2	
	搬送人員	3,522	4	0	1	287	36	28	545	12	30	2,255	322	0	0	2	

医療機関別搬送状況

H26年中

発生場所別搬送状況

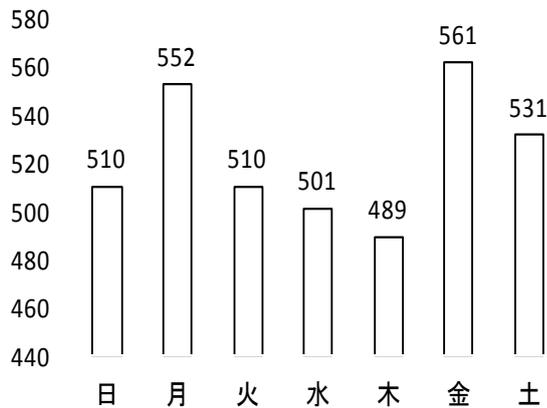


年齢別救急状況

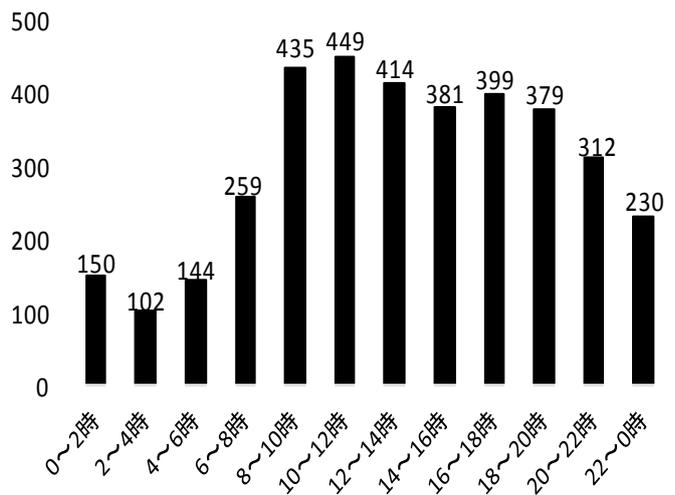
H26年中

年齢区分	種別												
	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
新生児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
乳幼児	129	0	0	0	9	0	0	38	0	0	73	9	
少年	114	1	0	0	23	0	20	11	2	0	52	5	
成人	992	1	0	1	172	34	7	111	8	20	580	58	
高齢者	2,287	2	0	0	83	2	1	385	2	10	1,550	252	
計	3,522	4	0	1	287	36	28	545	12	30	2,255	324	

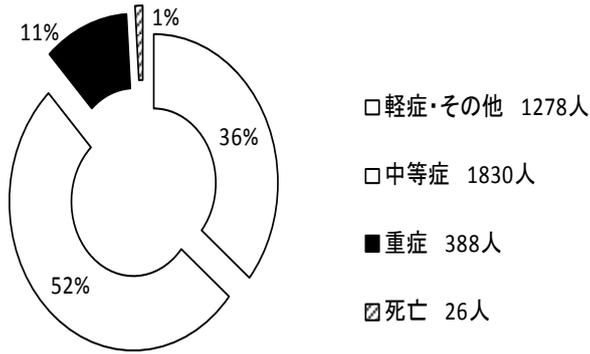
曜日別出勤状況 (H26年中)



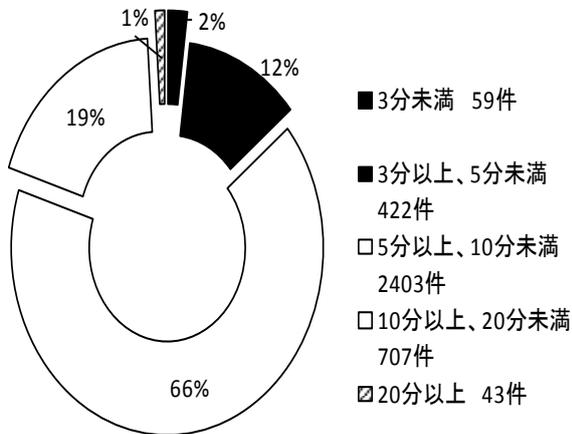
時間別出勤状況 (H26年中)



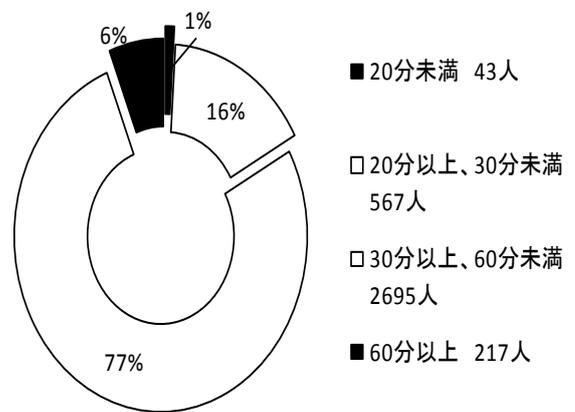
傷病程度別搬送状況 H26年中  
(総数 3,522人)



現場到着までの所要時間別状況 H26年中  
(総数 3,654件)



出勤から医療機関までの所要時間別状況 H26年中  
(総数 3,522人)



救急隊員が行った応急処置状況

H26年中

種別	応急処置	対象人員	止血	固定	人工呼吸	胸骨圧迫		心肺蘇生		酸素吸入	気道確保	経鼻エア			除細動	静脈路確保	薬剤投与
						うち自動	うち自動	食道閉鎖式	気管内挿管								
死亡	45	1	2	4	4	1	24	3	19	17	1	0	10	0	10	3	
重症	369	6	33	11	5	0	71	0	235	62	1	4	18	9	23	11	
中等症	1,634	49	106	0	0	0	0	0	483	9	0	0	0	0	0	0	
軽症	1,219	74	111	0	0	0	0	0	88	2	0	0	0	0	0	0	
その他	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	3,273	130	252	15	9	1	95	3	825	90	2	4	28	9	33	14	

## 医療機関別搬送状況

H26年中

医療機関名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
厚生連篠ノ井総合病院	139	133	121	106	130	105	156	143	117	139	129	155	1,573	
千曲中央病院	83	87	63	69	59	60	78	63	62	71	53	84	832	
長野赤十字病院	10	28	31	23	14	23	20	22	15	20	9	23	238	
厚生連長野松代総合病院	47	57	60	38	40	40	52	58	44	37	56	73	602	
信州上田医療センター	9	12	5	8	11	13	8	11	13	15	12	6	123	
小林脳神経外科・神経内科病院	3	4	6	0	2	2	2	0	1	2	1	4	27	
管内	長野寿光会上山田病院	2	2	1	0	1	0	1	1	1	1	2	13	
	稲荷山医療福祉センター	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	篠ノ井橋病院	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3	
	武市医院	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	
内	佐久ドクターヘリ	2	3	0	1	1	2	2	1	2	2	4	21	
	松本ドクターヘリ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
管外	長野市民病院	3	1	3	0	1	1	2	1	2	0	0	14	
	柳澤病院	3	1	1	0	0	1	1	1	0	1	0	9	
	千曲荘病院	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	2	8	
	愛和病院	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3	
	丸山産婦人科医院	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	長野県立須坂病院	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	東御市民病院	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	板倉レディースクリニック	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	清水産婦人科医院	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	4	
	長野中央病院	0	1	1	1	0	0	1	3	0	0	1	8	
	鶴賀病院	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	安藤病院	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	4	
	上田市内科・小児科初期救急センター	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	厚生連佐久総合病院	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	新生病院	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	厚生連安曇野総合病院	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	小林脳外科(長野市)	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	3	
	相澤病院	0	0	1	0	0	0	0	2	1	0	0	4	
	佐久医療センター	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	3	
	丸子総合中央病院	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	3	
	信州大学付属病院	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	
	長野県立こども病院	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	3	
	安曇野赤十字病院	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	依田窪病院	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
	栗田病院	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	厚生連北信総合病院	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
	上田市立産婦人科病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	信濃病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
長野県立総合リハビリテーションセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
合計	308	335	297	253	264	252	325	309	261	294	271	353	3,522	

## 救命講習会等実施状況

H26年中

講習 署別	普通救命Ⅰ		普通救命Ⅱ		上級救命		再講習		その他 救命講習会等		合計	
	受講人員	実施回数	受講人員	実施回数	受講人員	実施回数	受講人員	実施回数	受講人員	実施回数	受講人員	実施回数
戸倉 上山田署	41	2	146	9	19	1	11	1	576	16	793	29
更埴署	425	24	120	7	0	0	0	0	1,371	34	1,916	65
坂城署	41	4	0	0	0	0	0	0	727	18	768	22
合計	507	30	266	16	19	1	11	1	2,674	68	3,477	116

气

象



# 気 象

長野県内では、1月は、冬型の気圧配置や移動性高気圧に覆われ晴れた日が多くなった一方、低気圧や強い寒気の影響で、飯山では日降雪量が**69cm**と観測開始以来最高記録となった。2月は低気圧が本州の南海上や本州上を通過することが多く、低気圧の通過後は強い寒気の流れ込んだ日があり、北部で大雪となった。17日には放射冷却の影響で、松本今井で、日最低気温**-17.9℃**を観測し、統計開始以来の記録を更新した。3月は高気圧に覆われ晴れた日が多くなり、南からの暖かい空気が流れ込んだせいもあり平年よりかなり気温が高くなった。4月は低気圧と高気圧が日本付近を次々と通過し天気は数日の周期で変化し、長野では**21日**に平地でも積雪を観測し高速道路の通行止めや農業施設への被害、停電などが発生した。

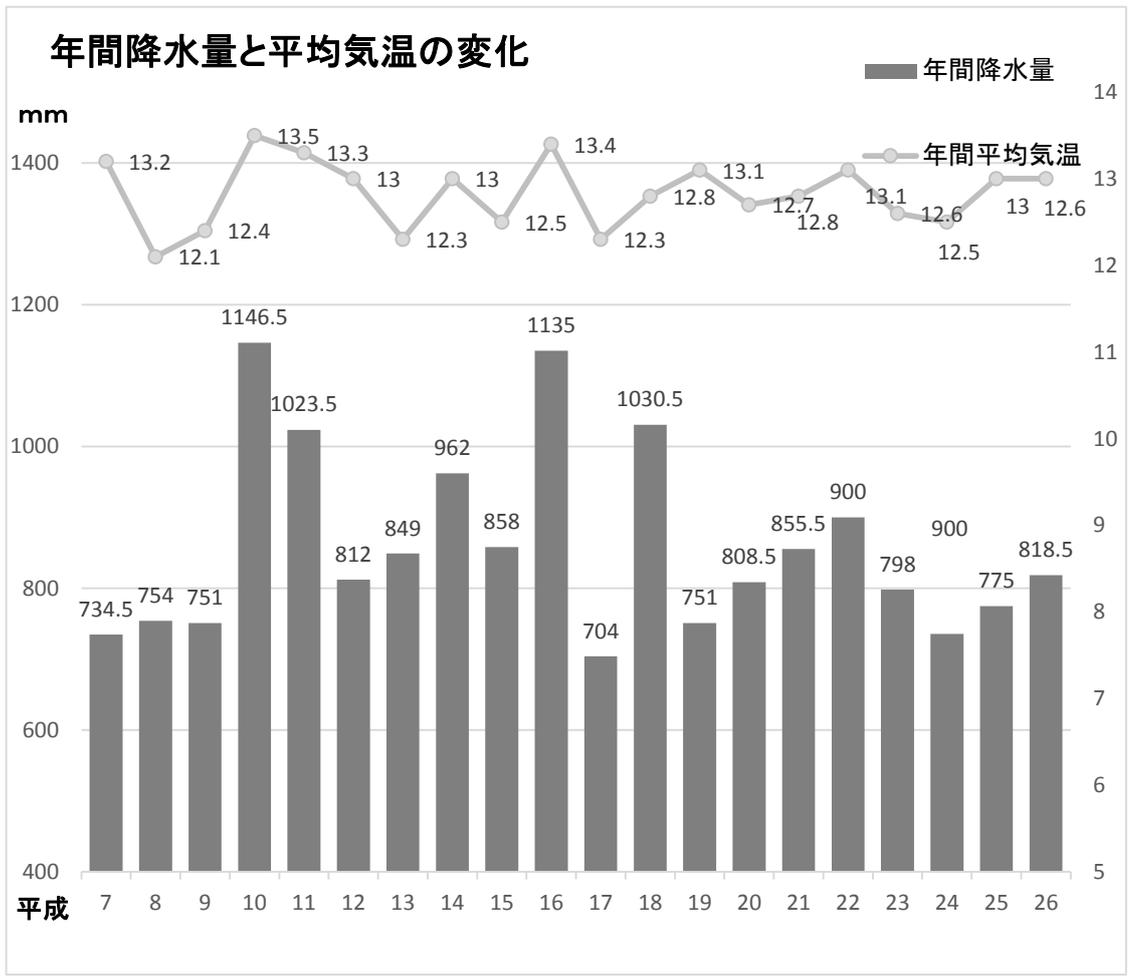
5月は、ほぼ平年並みで、降水量は平年よりかなり少なくなった。関東甲信地方では、6月10日頃に梅雨入りし、梅雨前線や低気圧の影響でまとまった雨の降った日があったが下旬以降は高気圧に覆われて晴れた日があった。7月6日頃に関東甲信地方は梅雨明けをした。7月、8月は太平洋高気圧に覆われ晴れた日が続き、8月12日には南信濃で最高気温が**39.1℃**を観測した。

9月中旬から下旬にかけては、高気圧に覆われ晴れた日が多くなった一方で、16日に台風18号が長野県南部を通過した影響で大雨となり、浪合では、日最大1時間降水量**73.5mm**、日降水量**263.5mm**を観測し観測史上最大となった。10月は、15日、16日にかけて台風26号の接近で大雨となった。上旬は平年より勢力の強い太平洋高気圧や台風が日本付近に接近した影響で、季節外れの高温となり、平年に比べ**4℃**前後も高くなった。

11月上旬は、低気圧と高気圧が交互に通過し天気は1日から2日の周期で変わり中旬から下旬は、冬型の気圧配置や高気圧に覆われた日が多くなった一方で、北部や県の西側の地域を中心に寒気の影響で雨や雪の日があり、13日と21日は北部の山沿いで大雪となった。12月中旬に冬型の気圧配置や移動性高気圧に覆われ中部や南部を中心に晴れた日が多くなった。

1年を通じ平均気温はほぼ平年並みまたは平年より高い地点が多く、降水量は、ほぼ平年並みであった。日照時間は、平年より多いまたはかなり多い1年であった。

(長野地方気象台資料による)



月別気温 (°C) (観測場所:千曲坂城消防本部、千曲市大字磯部1221番地)

H26年中

区分\月別		全年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平均 気 温	上旬	12.6	-0.5	0.1	1.2	8.6	15.0	22.1	23.3	26.2	22.1	18.3	11.1	3.9
	中旬	11.7	-1.6	-1.4	4.8	10.3	17.4	21.3	24.7	25.3	18.8	13.7	6.8	0.8
	下旬	13.1	1.0	1.4	8.7	13.7	19.0	21.7	26.6	23.6	18.9	12.2	9.3	0.8
	月平均	12.5	-0.4	0.0	4.9	10.9	17.1	21.7	24.9	25.0	19.9	14.7	9.1	1.8
最 の 高 平 気 温 均	上旬	18.4	4.4	4.8	5.6	16.3	22.7	28.5	29.3	32.7	27.9	24.0	16.4	7.7
	中旬	17.6	3.2	2.0	10.7	17.8	25.5	28.2	31.1	30.7	25.2	19.4	13.3	4.3
	下旬	19.4	7.2	7.0	15.8	20.6	26.4	28.2	34.0	29.0	26.0	19.0	15.0	4.6
	月平均	18.5	4.9	4.6	10.7	18.2	24.9	28.3	31.5	30.8	26.4	20.8	14.9	5.5
最 の 低 平 気 温 均	上旬	8.2	-4.5	-3.8	-2.1	2.4	8.3	17.6	19.6	21.6	18.2	14.8	6.3	0.5
	中旬	7.0	-5.9	-4.6	-0.1	3.3	10.3	16.5	20.9	21.3	13.7	9.1	1.4	-2.2
	下旬	8.3	-3.6	-3.6	2.4	7.5	13.3	18.0	21.4	20.5	13.5	7.2	4.6	-1.9
	月平均	7.8	-4.7	-4.0	0.1	4.4	10.6	17.4	20.6	21.1	15.1	10.4	4.1	-1.2

月別降水量 (mm) (観測場所:千曲坂城消防本部、千曲市大字磯部1221番地)

H26年中

区分\月別		全年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
降 水 量	上旬	225.0	14.5	25.5	11.5	2.5	4.5	3.0	46.5	24.0	28.5	53.5	6.5	4.5
	中旬	347.5	2.0	87.5	27.5	2.0	4.0	49.5	46.0	56.5	0.0	34.5	2.0	36.0
	下旬	246.0	2.5	0.0	25.0	16.5	45.5	50.0	8.5	39.0	0.5	11.0	42.0	5.5
	月計	818.5	19.0	113.0	64.0	21.0	54.0	102.5	101.0	119.5	29.0	99.0	50.5	46.0
日降水量の極		-	10.5	49.5	22.0	15.5	35.5	26.0	24.0	34.0	10.0	29.0	22.0	11.0
起日		-	8	15	30	30	21	22	19	16	1	5	29	16
一時間最大降水量の極		-	2.0	4.0	14.0	4.0	9.0	21.5	23.0	15.0	5.5	8.0	7.0	3.5
起日		-	8	8	30	30	21	17	19	16	6	13	29	16
時間		-	18:00	13:10	14:00	9:10	5:40	21:10	13:20	12:10	21:40	22:40	8:40	16:40
降雪量(cm)		165.5	14.0	127.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	0.0	24.5
日降雪量の極		-	4.0	64.0										14.0
起日		-	8	14										18

月別気温の極・階級別・天候日数 (観測場所:千曲坂城消防本部、千曲市大字磯部1221番地)

H26年中

区分\月別		全年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最高気温の極(°C)		-	11.3	16.7	23.1	26.5	33.6	33.6	38.1	36.7	31.2	29.1	21.1	14.5
起日		-	28	2	29	27	30	2	26	7	25	3	6	1
最低气温の極(°C)		-	-8.3	-8.3	-6.0	-2.4	4.1	11.8	18.5	18.3	8.3	2.4	-1.2	-7.3
起日		-	14	23	11	7	7	15	5	13	19	29	19	19
階 級 別 日 数	猛暑日	11							4	7				
	真夏日	43					5	8	18	9	3			
	夏日	73				2	10	19	8	11	18	5		
	熱帯夜	0												
	真冬日	4		3	1									
	冬日	99	31	22	15	4							4	23
天 候 日 数	快晴	59	1	4	8	9	8	7	3	2	3	8	4	2
	晴	163	23	10	10	15	14	9	18	11	18	14	16	5
	曇	107	4	9	9	4	8	12	9	13	9	6	6	18
	雨	22			3	2	1	2	1	5		3	4	1
	雪	14	3	5	1									5

月別平均湿度(相) 風向

(観測場所:千曲坂城消防本部、千曲市大字磯部1221番地)

H26年中

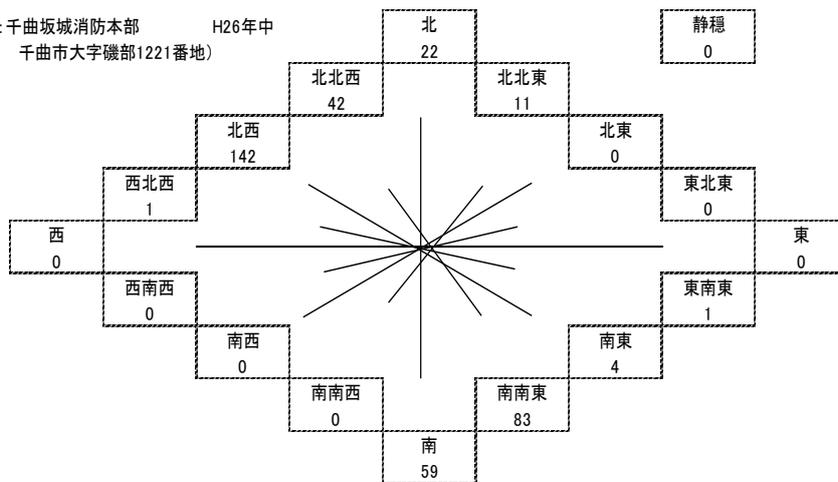
区分\月別		全年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平均湿度	上旬	-	85.5	80.2	78.6	66.7	62.3	72.2	83.2	79.3	82.5	80.5	85.5	80.1
	中旬	-	81.7	84.3	75.6	57.4	59.0	77.2	83.0	86.8	77.6	81.6	82.0	91.7
	下旬	-	79.3	79.7	69.2	64.1	74.1	80.7	75.3	84.6	75.5	82.9	84.9	89.6
	月計	78.2	82.2	81.4	74.5	62.7	65.1	76.7	80.5	83.6	78.5	81.7	84.1	87.1
最少	極	-	31.6	38.0	22.2	14.1	15.2	22.5	35.5	38.0	37.7	31.9	32.7	32.4
	起日	-	28	5	29	14	12	1	12	7	13	19	13	2
風向	北	0												
	北北東	0												
	北東	59	7	4	2	2	6	7	3	8	5	6	5	4
	東北東	22	3	2	1	1	2	1		1	2		1	8
	東	4				1			1	1		1		
	東南東	0												
	南東	0												
	南南東	142	14	14	19	14	11	8	13	4	14	8	9	14
	南	0												
	南南西	11	1	1					1	1	1	2	3	1
	南西	0												
	西南西	1								1				
	西	83	1	4	3	5	5	11	12	12	6	10	10	4
	西北西	0												
北西	0													
北北西	1			1										
静穏	42	5	3	5	7	7	3	1	3	2	4	2		
平均風速	上旬	-	1.7	2.7	2.5	2.6	2.7	2.9	2.3	1.7	2.2	2.3	2.1	2.0
	中旬	-	1.7	3.0	2.7	2.3	2.4	1.8	1.7	1.4	1.6	2.4	1.6	1.8
	下旬	-	2.2	2.1	2.2	2.1	1.9	2.2	1.8	1.6	2.6	2.0	2.3	1.7
	月平均	2.1	1.8	2.6	2.4	2.3	2.3	2.3	1.9	1.6	2.1	2.2	2.0	1.8
瞬間最大風速	-	15.4	19.6	18.1	16.4	17.1	17.9	12.6	17.2	16.1	16.8	14.7	14.0	

月別風向・風速

(観測場所:千曲坂城消防本部

H26年中

千曲市大字磯部1221番地)



消防団

# 消 防 団

消防団員は、住民の生命と財産を災害から守るため日夜安全な地域づくりに貢献しています。

また、常備消防と消防団連絡会議等で連携が図られ、防災体制の確立がなされています。

## 消防団の組織

H27.4.2現在

千曲市

団 長 1
副 団 長 3

分 団 名	第 一 分 団	第 二 分 団	第 三 分 団	第 四 分 団	第 五 分 団	第 六 分 団	第 七 分 団	第 八 分 団	第 九 分 団	第 十 分 団	第 十 一 分 団	第 十 二 分 団
人員	42	42	55	49	39	87	74	95	89	70	49	74
区 域	屋代・粟佐	雨宮・土口・生萱	森・倉科	小島・桜堂 寂蒔・鋳物師屋・打沢	杭瀬下・新田・中	八幡（郡・中原） 稲荷山・野高場・桑原	八幡（郡・中原を除く）	磯部・戸倉・戸倉温泉	若宮・羽尾・須坂	上徳間・内川・千本柳・小船山	上山田温泉（一、二、三、四丁目） 上山田（女沢北部地域）	新山・力石 上山田（女沢南部地域）

H27.4.2現在

坂城町

団 長 1
副 団 長 2

分 団 名	第 一 分 団	第 二 分 団	第 三 分 団	第 四 分 団	第 五 分 団	第 六 分 団	第 七 分 団	第 八 分 団	第 九 分 団	第 十 分 団	第 十 一 分 団	ラ ッ パ 分 団
人員	20	20	20	27	23	20	20	27	25	20	20	20
区 域	鼠・新地	金井	入横尾・町横尾・泉	中之条	御所沢・田町 四ツ屋・成久保	南日名・北日名	込山・旭ヶ丘 横町・立町	坂端・苅屋原 日名沢・大宮・新町	網掛・月見・小網	上五明	上平	町内全域

消防団員の階級別定員と実員状況

H27. 4. 2現在

市町別		階級	計	団 長	副団長	分団長	副分団長	班 長	団 員
計	定 員		1,099	2	5	25	25	144	898
	実 員		1,071	2	5	25	25	145	869
千曲市	定 員		834	1	3	13	13	132	672
	実 員		806	1	3	13	13	133 (2)	643 (12)
坂城町	定 員		265	1	2	12	12	12	226
	実 員		265	1	2	12	12	12	226

( ) は女性団員数

消防団員の年齢状況

H27. 4. 2現在

市町別		階級	計	団 長	副団長	分団長	副分団長	班 長	団 員
総 計			1,071	2	5	25	25	145	869
千 曲 市	計		806	1	3	13	13	133	643
	20歳未満		1						1
	20～25歳未満		50					3	47
	25～30歳 "		154				1	23	130
	30～35歳 "		213			2	2	43	166
	35～40歳 "		247			4	5	44	194
	40～45歳 "		106			6	4	17	79
	45～50歳 "		22			1	1	2	18
	50～55歳 "		7		1			1	5
55歳以上		6	1	2				3	
坂 城 町	計		265	1	2	12	12	12	226
	20歳未満		4						4
	20～25歳未満		23				1	1	21
	25～30歳 "		56			6	5	5	40
	30～35歳 "		69			5	4	5	55
	35～40歳 "		84				2	1	81
	40～45歳 "		23			1			22
	45～50歳 "		3						3
	50～55歳 "								
55歳以上		3	1	2					

※ 平均年齢…(千曲市) 男子 34.1歳・女子 33.2歳 (坂城町) 男子 34.1歳・女子 33.2歳

消防団員の勤続年数状況

H27. 4. 2現在

市町別		階級	計
総計			1,071
千曲市	計		806
	5年未満		291
	5～10年未満		259
	10～15年 "		156
	15～20年 "		72
	20年以上		28
坂城町	計		265
	5年未満		65
	5～10年未満		75
	10～15年 "		57
	15～20年 "		55
	20年以上		13

消防団員の報酬・費用弁償等の状況

H27. 4. 1現在

市町別	階級	団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	活動費等
千曲市		千円 245.6	千円 161.6	千円 138.5	千円 55	千円 40.8	千円 17.1	1名につき9,000円/年 出動手当 1回 500円
坂城町		252	177	71.5	47	34.3	21.8	各分団平均130,500円/年 出動交付金 1回 1,000円 (災害時は除く)

表彰等受章状況

千曲市

H26年度中

種別	階級	計	団 長	副団長	分団長	副分団長	班 長	団 員	その他
消防庁長官	退職表彰	7			1			6	
日本消防協会	勤続章				1				
	精績章	1			1				
長野県知事	退職表彰	19	1		3		2	13	
長野県消防協会長	退職感謝状	3	1	2					
	功績章	2						2	
	功労章	6			1	3	2		
	努力章	5			5				
	技術章	5			1		1	3	
	精績章	8			3	4	1		
長野県協会	精勤章	32			1	2	3	26	
	永年勤続功労章								
埴科消防協会長	功労章	37					37		
	5年勤続章								
	10年勤続章	38			1		8	29	
	15年勤続章	14				1	2	11	
	20年勤続章	3						3	

坂城町

H26年度中

種別	階級	計	団 長	副団長	分団長	副分団長	班 長	団 員	その他
消防庁長官	退職表彰	9			9				
日本消防協会	功績章								
	精績章								
長野県知事	退職表彰								
長野県消防協会長	退職感謝状	3	1	2					
	功績章	2			2				
	功労章	2			2				
	努力章	2			2				
	技術章	2			2				
	精績章	3			3				
長野県協会	精勤章	11			3	6	2		
	永年勤続功労章								
埴科消防協会長	功労章	8				2	6		
	10年勤続章	11				1	1	9	
	15年勤続章	12						12	
	20年勤続章	6						6	

消防団員就業状況

H27. 4. 2現在

職業別	計	農業	林業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス 熱給水道	運輸 通信業	卸売・ 小売業 飲食店	金融 保険業	サー ビス業	公務 員	その他
市町別	1,071	13			80	437	30	43	75	7	130	124	132
千曲市	806	9			61	308	21	36	62	5	111	89	104
坂城町	265	4			19	129	9	7	13	2	19	35	28

# 婦人消防隊

婦人消防隊は、千曲市、坂城町の一市一町とも組織され、火災等災害時に備え、定期的に訓練を重ね有事に備えるとともに、火災予防広報の実施等で地域防災の重要な役割を果たしており、向こう3件両隣、隣保共助の精神で防災の一躍を担っています。

## 婦人消防隊の組織

〈千 曲 市〉

H27. 4. 2現在

隊 長	副 隊 長	分 団 長	部 長	副 部 長	班 長	隊 員
1	3	13	22	28	60	379

〈坂 城 町〉

( )内は分隊長から選任

隊 長	副 隊 長	南 条 地 区 隊 長 中 之 条 地 区 隊 長 坂 城 地 区 隊 長 村 上 地 区 隊 長	地 区 副 隊 長	分 隊 長	副 分 隊 長	隊 員
(1)	(3)		(8)	26	43	528

分団長指揮  
↓  
分 隊 長



災害のないまちづくりのために



# 平成 27 年度防災推進目標

平成 27 年 2 月 18 日

## 防 災 推 進 会 議

近年、局地的な豪雨、豪雪や台風等による災害が各地で頻発し、住民の生命、身体及び財産を災害から守る地域防災力の重要性が増大しています。さらに、南海トラフ巨大地震や首都直下地震を始めとした大規模災害に対応するためには、地域防災力の充実強化は、公助だけでなく、自助・共助とのバランスを取りつつ総合的に進めていくことが必要です。

昨年は、2 月に関東甲信地域の記録的な大雪があり、各地で観測史上 1 位の積雪を記録し、8 月には中国地方で記録的な大雨により広島市内 1 6 6 箇所以上で土砂災害が発生するなど、自然が猛威を振るいました。県内においても台風 8 号による南木曾町で発生した土石流災害や、9 月に発生した御嶽山噴火災害、1 1 月には長野県神城断層地震が発生し、当消防本部管内でも大きな揺れを体感したことは記憶に新しく、自然災害の怖さを痛感しました。

また、管内で発生した火災件数は 4 0 件で前年比 9 件の減少でしたが、4 名の方が火災により負傷しました。火災件数の 6 割が火の取扱いの不注意や不始末などによる失火で、住民への住宅防火対策や火気管理の徹底を図ることで火災による被害を減少するよう努めていきます。救急出動件数については 3,6 5 4 件で、前年比 2 3 4 件の増加で、平成 2 2 年に年間の出動件数が 3,0 0 0 件を超えてから一貫して増加している状況で、その一因として高齢化が考えられます。このような災害状況や社会情勢の変化を踏まえ、平成 2 7 年度は次の事項を重点に掲げ推進します。

### 1 防火防災に対する意識の高揚

#### (1) 火災予防の徹底

##### ア 住宅防火対策の推進

(ア) 住宅用火災警報器の設置の徹底及び適切な維持管理の周知

(イ) 防災品の普及促進

(ウ) 高齢者等の要配慮者の把握と安全対策及び死傷防止対策

(エ) 天ぷら鍋からの出火など、うっかり火災の防止

(オ) 火気使用器具及び電気器具からの出火防止対策

(カ) たばこ火災に係る注意喚起

(キ) 消防団・婦人消防隊及び自主防災組織等と連携した広報・普及啓発活動

##### イ 放火火災防止対策の推進

(ア) 放火されない環境づくり

(イ) センサー付き照明等の防火・防犯設備の設置指導

ウ たき火の際の安全確認と消火の準備及び消火の徹底

エ 子供の火遊びによる出火防止対策

##### オ 林野火災予防対策

(ア) 屋外告知放送、車両等による広報活動及び巡回指導

(イ) 林野周辺住民及び入山者等の防火意識の高揚

#### (2) 自然災害に対する対応と対策

ア 地震や風水害等に対する防災に関する知識の普及啓発

イ 地域ぐるみの防災体制の確立

- ウ 地域の自主防災組織の育成強化
- エ 地域における実践的な防災訓練の普及
- オ 災害危険箇所等の把握及び住民への周知
- カ 雪害対策として、近隣居住者等との協力の下、複数人での除雪作業実施
- キ 水・食料等の備蓄、家具の転倒防止等自主防災の呼びかけ

(3) 危険物災害の防止

- ア 家庭や職場における危険物の取扱いに対する安全意識の高揚
- イ 液化石油ガス及び都市ガスの性状、ガス器具使用上の安全対策等について周知徹底
- ウ 自主点検及び震災時等の転倒防止と漏えい事故防止

2 防火防災に関する指導及び啓発

- (1) 防火座談会、防災講習会等の開催
- (2) 各種災害を想定した防災訓練の実施
- (3) 住民、事業所等各自主防災組織間の協調、連携を図る啓発行事の実施
- (4) 製品火災発生防止に向けた注意情報の発信と適切な使用・維持管理の呼びかけ
- (5) 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導
  - ア 催しを主催する者に対する指導
  - イ ガソリン等の貯蔵・取扱いに対する指導
  - ウ 火気器具を使用する屋台等への指導

3 災害事故発生時の対応についての普及啓発

- (1) 初期消火要領
- (2) 正しい119番通報要領
- (3) 安全かつ正しい避難要領
- (4) 要配慮者の救出活動要領
- (5) 応急手当の知識と技術
- (6) AEDの設置場所に関する情報の収集及び住民に対する情報提供
- (7) AEDが設置されている公共施設等の活用
- (8) 救急車の適正な利用の呼びかけ
- (9) 被害の確認・応急措置、臨時的な対応、復旧対応等

4 その他

- (1) 老朽化消火器による破裂事故等防止の注意喚起
- (2) 廃消火器リサイクルシステムの情報提供
- (3) 消火器、住宅用火災警報器等の悪質な訪問販売・詐欺等における被害防止



- 第5 防災推進員として出向する職員は、地区担当及び申請内容等を考慮して署長が指名した者とする。
- 2 防災推進員は、事案が発生したときは防災推進連絡簿（別記様式）に必要事項を記入し消防署予防係へ提出すること。又事案が終了したときも必要事項を記入し提出すること。
  - 3 防災推進員は、事案を円滑に推進するために、地区の事情に応じ関係機関等に協力を依頼することができる。
  - 4 関係市町が行う生涯学習関係事業等への出向は、この要綱に準ずる。

#### 附 則

この要綱は、平成15年9月1日から施行する。

# 消防組合関係者

## 消防組合役職員名簿

### 管理者・副管理者

平成27年4月1日現在

職名	氏名	現職
管理者	岡田 昭雄	千曲市長
副管理者	山村 弘	坂城町長
〃	山本 高明	千曲市副市長

### 組合議会議員

平成27年7月17日現在

職名	氏名	住所
議長	小山 嘉一	千曲市
副議長	大森 茂彦	坂城町
議員	大澤 洋子	千曲市
〃	荻原 光太郎	千曲市
〃	倉島 清香	千曲市
〃	袖山 廣雄	千曲市
〃	中村 了治	千曲市
〃	林 愛一郎	千曲市
〃	宮坂 重道	千曲市
〃	和田 重昭	千曲市
〃	朝倉 国勝	坂城町
〃	柳 沢 収	坂城町

平成27年4月1日現在

### 監査委員

区分	氏名	住所
識見者	中澤 守	坂城町
議会選出	荻原 光太郎	千曲市

管理者等在職期間

歴代管理者

氏名	在職期間	職別
宮坂博敏	自 平成15年10月5日 至 平成19年10月4日	千曲市長
近藤清一郎	自 平成19年10月5日 至 平成24年9月27日	千曲市長
岡田昭雄	自 平成24年11月11日 ～ 現在	千曲市長

歴代副管理者

氏名	在職期間	職別
中沢一	自 平成11年5月1日 至 平成23年4月30日	坂城町長
山村弘	自 平成23年5月1日 ～ 現在	坂城町長
瀧澤嘉市	自 平成19年11月1日 至 平成25年1月31日	千曲市副市長
山本高明	自 平成25年2月1日 ～ 現在	千曲市副市長

歴代組合議会議長

氏名	在職期間	職別
若林勝朗	自 平成15年11月5日 至 平成16年8月22日	千曲市
戸谷有次郎	自 平成16年8月22日 至 平成18年8月22日	千曲市
和田重昭	自 平成18年8月22日 至 平成20年8月22日	千曲市
西澤今朝人	自 平成20年8月22日 至 平成22年4月27日	千曲市
中村直行	自 平成22年8月24日 至 平成24年8月23日	千曲市
中沢政好	自 平成24年8月23日 至 平成26年7月31日	千曲市
小山嘉一	自 平成26年8月18日 ～ 現在	千曲市

歴代組合議会副議長

氏名	在職期間	職別
宮島祐夫	自 平成15年5月29日 至 平成18年8月22日	坂城町
青木崇	自 平成18年8月22日 至 平成20年7月31日	千曲市
春日武	自 平成20年8月22日 至 平成21年5月19日	坂城町
大森茂彦	自 平成21年7月7日 至 平成23年5月17日	坂城町
塩野入猛	自 平成23年7月6日 至 平成25年5月17日	坂城町
大森茂彦	自 平成25年5月17日 ～ 現在	坂城町

## 歴代消防長

### 更埴市消防本部

歴代	氏 名	在 職 期 間
初代	若 林 忠 一	自 昭和42年4月 1日 至 昭和42年7月10日
2	坂 口 登	自 昭和42年7月11日 至 昭和45年2月12日
3	唐木田 稲治郎	自 昭和45年3月29日 至 昭和45年5月17日
4	村 山 隆 英	自 昭和45年5月18日 至 昭和49年4月30日
5	稲 玉 貞 雄	自 昭和49年5月 1日 至 昭和52年7月14日
6	唐木田 稲治郎	自 昭和52年7月15日 至 昭和53年3月28日
7	稲 玉 貞 雄	自 昭和53年3月29日 至 昭和53年6月12日
8	碓 田 啓 二	自 昭和53年6月13日 至 昭和57年3月31日
9	山 田 行 愛	自 昭和57年4月 1日 至 昭和59年3月31日
10	森 泉 和 夫	自 昭和59年4月 1日 至 昭和63年3月31日
11	久 保 茂 男	自 昭和63年4月 1日 至 平成 3年3月31日
12	込 山 宏	自 平成 3年4月 1日 至 平成 6年3月31日
13	矢 島 弘 夫	自 平成 6年4月 1日 至 平成 8年3月31日
14	下 崎 巖	自 平成 8年4月 1日 至 平成10年3月31日
15	小 澤 誠	自 平成10年4月 1日 至 平成13年3月31日
16	西 村 紘 志	自 平成13年4月 1日 至 平成14年3月31日
17	宮 坂 悦 雄	自 平成14年4月 1日 至 平成15年8月31日

### 坂城戸倉上山田消防組合消防本部

歴代	氏 名	在 職 期 間
初代	関 口 正 治	自 昭和45年11月 1日 至 昭和56年 3月31日
2	原 山 茂	自 昭和56年4月 1日 至 昭和57年11月17日
3	村 山 智 重	自 昭和57年11月22日 至 平成 7年 3月31日
4	望 月 照 一	自 平成 7年4月 1日 至 平成13年 3月31日
5	竹 内 公 司	自 平成13年4月 1日 至 平成15年 3月31日
6	北 澤 親 夫	自 平成15年4月 1日 至 平成15年 8月31日

### 千曲坂城消防本部

1	北 澤 親 夫	自 平成15年9月 1日 至 平成16年3月31日
2	小 岩 一 雄	自 平成16年4月 1日 至 平成17年 3月31日
3	近 藤 善 正	自 平成17年4月 1日 至 平成18年 3月31日
4	朝 倉 和 雄	自 平成18年4月 1日 至 平成20年 3月31日
5	北 澤 宏	自 平成20年4月 1日 至 平成21年 3月31日
6	森 保 美	自 平成21年4月 1日 至 平成22年 3月31日
7	中 村 正 行	自 平成22年4月 1日 至 平成23年 3月31日
8	山 崎 一	自 平成23年4月 1日 至 平成24年 3月31日
9	保 坂 正 男	自 平成24年4月 1日 至 平成26年 3月31日
10	望 月 則 男	自 平成26年4月 1日 ～現在

## 消防団長

### 千曲市

氏名	在職期間
荒井 治 和	平成15年9月1日～平成18年4月1日
岡田 忠 行	平成18年4月2日～平成20年4月1日
渡島 港 一	平成20年4月2日～平成22年4月1日
塚田 昌 平	平成22年4月2日～平成24年4月1日
亘 健 二	平成24年4月2日～平成26年4月1日
坂口 徹 雄	平成26年4月2日～ 現在

### 坂城町

氏名	在職期間
富山 泰 行	平成14年4月2日～平成16年4月1日
塩野 入 博 幸	平成16年4月2日～平成18年4月1日
片山 吉 一	平成18年4月2日～平成20年4月1日
高橋 進 平	平成20年4月2日～平成22年4月1日
塩野 今 朝 文	平成22年4月2日～平成24年4月1日
手塚 秀 樹	平成24年4月2日～平成26年4月1日
松本 幸 男	平成26年4月2日～ 現在

## 消防副団長

### 千曲市

氏名	在職期間
岡田 忠 行	平成16年4月2日～平成18年4月1日
臼井 満 芳	平成16年4月2日～平成18年4月1日
渡島 港 一	平成16年4月2日～平成18年4月1日
島田 久 敏	平成18年4月2日～平成20年4月1日
北村 嘉 照	平成18年4月2日～平成21年4月1日
横山 征 之	平成18年4月2日～平成22年4月1日
塚田 昌 平	平成20年4月2日～平成22年4月1日
亘 健 二	平成22年4月2日～平成24年4月1日
林 幸 彦	平成22年4月2日～平成24年4月1日
坂口 徹 雄	平成21年4月2日～平成25年4月1日
藤澤 公 二	平成24年4月2日～平成26年4月1日
宮入 義 徳	平成24年4月2日～平成26年4月1日
西澤 誠 二	平成25年4月2日～平成27年4月1日
福島 幸 久	平成26年4月2日～ 現在
湯 井 勉	平成26年4月2日～ 現在
宮原 辰 美	平成27年4月2日～ 現在

## 坂城町

氏 名	在 職 期 間
竹 内 今 朝 通	平成14年4月2日～平成16年4月1日
塩 野 今 朝 文	平成14年4月2日～平成16年4月1日
荒 井 一 郎	平成16年4月2日～平成18年4月1日
山 崎 勉	平成16年4月2日～平成18年4月1日
松 本 幸 男	平成18年4月2日～平成20年4月1日
川 島 金 治	平成18年4月2日～平成20年4月1日
村 田 健 二	平成20年4月2日～平成22年4月1日
竹 内 敏 正	平成20年4月2日～平成22年4月1日
手 塚 秀 樹	平成22年4月2日～平成24年4月1日
深 井 幸 年	平成22年4月2日～平成25年12月31日
大 井 義 明	平成24年4月2日～平成26年4月1日
今 井 正 人	平成26年4月2日～ 現在
鈴 木 清	平成26年4月2日～ 現在

## 千曲坂城危険物防火管理協会

### 会長

氏 名	在 職 期 間
荻 原 光 太 郎	平成15年5月～平成17年5月
宮 本 健 二	平成17年5月～平成19年5月
田 島 光 雄	平成19年5月～ 現在

### 副会長

氏 名	在 職 期 間
宮 本 健 二	平成15年5月～平成17年5月
中 村 明 文	平成15年5月～平成17年5月
田 島 光 雄	平成17年5月～平成19年5月
若 林 俊 樹	平成17年5月～ 現在
藤 井 幹 男	平成19年5月～平成26年3月
柳 沢 謙 二	平成26年3月～ 現在

消 防 年 報

2015

平成 27 年 8 月 発行

発行 千曲坂城消防組合

〒 389-0806

長野県千曲市大字磯部 1221 番地

TEL (026) 276 - 0119

FAX (026) 276 - 9119

E:Mail [chikumasakaki@ag.wakwak.com](mailto:chikumasakaki@ag.wakwak.com)

